



太陽と海と緑 一観光文化のまち
沖縄県本部町



あ
っ
と



@
もとぶ

沖縄県
本部町町勢要覧2020

本部町の誇りある歴史を未来へつないでいく

沖縄県北部に位置する本部町は「あっ！」という驚きや感動、心を動かす要素にあふれています。昔から変わらぬ豊かな森と美しい海。新たなものを受け入れ、地元の産業として発展させていく柔軟な住民の心。「日本一心豊かなまちづくり」をモットーにここに、もとぶでしか得られない「あっ！」という感動はこれから、もっともっと増えていきます。



本部町長
平良 武康

町長挨拶

太陽と海と緑－観光文化のまち本部町

沖縄本島の北西部に位置する本部町は、西に東シナ海を望み、東に雄大な自然の営みを感じさせるカルスト地形や八重岳と、美しい景観や恵まれた自然環境に育まれ、時代の移り変わりとともに変遷を重ねながら、多くの先人たちの努力により発展してまいりました。

本町には、年間500万人以上の観光客が訪れます。初夏を告げるカツオや、真夏の太陽を連想させる真っ赤なアゼローラ、シークワーサー、ハインアップルなど、一年を通じて旬の特産品が溢れ、海洋博記念公園や沖縄美ら海水族館に代表される観光

施設や、備瀬のフグや並木など、見所も枚挙にきません。また本町では、まちづくりの基本として、融和・協調・個性を大事に、町民生活の豊かさを第一に据えております。町を取り巻く課題を克服し「日本一心豊かな町づくり」を進めていきます。

この町勢要覧では、本部町の地勢や文化、特産品などの情報をほんの一部紹介しております。ご覧いただき本部町をより一層ご理解していただければ幸いに存じます。そして是非、本部町にお越しいただき、その良さを御堪能ください。

町民一同心よりお待ちしております。



あっと



もとぶ



円盤 カルストから眺める
本部町の夕日



動画をダウンロード

あつと

@もどぶ

産業

豊かな自然環境を活かし、町の活性化発展を目指す。

拠点産地認定を受け、年間約500トンが収穫される 本部町産シークワーサー

県内有数の柑橘産地である本部町は、古くからシークワーサーが自生しており、町民にも馴染みのある果実です。血糖値や血圧の上昇を抑える効果期待されるノビレチンとタンゲレチンという成分を含むことから、県内外からも注目を集めています。

町内では、7月から11月頃まで収穫され、年間約500トンもの生産量を誇ります。平成26年度に飲料加工場を整備、平成27年度に町、生産者、加工業者、消費者等で組織される「もどぶシークワーサー生産・消費拡大推進協議会」を設立し、平成28年度に拠点産地として認定されました。シークワーサーを使った加工品を製造するほか、青切りシークワーサーを新ブランド「もどぶパワースーミかん」として町内外へPRしています。



もどぶの人
本部町の農業を元気にする
ネットワークの会
会長
知念 一義さん

「本部町の農業を元気にするネットワークの会」は、平成26年1月に町内の各農業者団体によって設立されました。花木や菊産、野菜、果樹類などの農業者団体が現在22団体加盟しています。生産品目の枠を超え情報や資源の共有による産業の活性化を図っています。



【もどぶかりゆしワールド】

貿易自由化の影響で長らく栽培が途絶えていたバインアップルですが、新品種の苗を取り入れ、平成28年に新ブランド「もどぶかりゆしワールド」が誕生。糖度が高く高品質な美を付けます。



【マグロの養殖】

本部町では、平成2年にクロマグロ養殖をスタート。毎年400トン以上のマグロが全国の魚市場を通じて寿司屋、鮮魚店、量販店などで販売されています。



【肉用牛の飼育】

町内には、肉用牛農家13戸の飼養農家と約2500頭の肉用牛がいます。給餌にビール粕や泡盛粕などを配合して育てた「もどぶ牛」は、農林水産大臣賞を受賞し、本部町のブランド牛として地位を確立しています。



【肉用ヤギの飼育】

山羊肉需要の増加を背景に、平成23年度に「もどぶビージャー生産組合」を設立するなど、優良山羊の改良増殖及び山羊肉の安定供給を目指しています。毎年主催している「もどぶやぎ祭り」も好評です。

Top08

「もどぶ産農水産物消費拡大推進条例」

やっぱりもどぶ産品が1番さ〜！



地域一体となって 地元農水産物の 消費拡大に取り組む

本部町では、町、生産者、事業者、町民それぞれが連携して、地元農水産物の自産自消や自産他消、安定供給・品質の向上、特産品の開発などを推進することを目的に、令和元年6月に「もどぶ産農水産物消費拡大推進条例」を施行しました。現在、町内では観光施設等を活用した特産品の販売に力を入れているとともに、飲食店・ホテルでは積極的に本部の農水産物を使うように取り組んでいます。

あっと

@もとぶ

観光

年間500万人が
訪れる県内屈指の
観光エリア。

豊かな自然に囲まれた
地域資源を活用して
誘客を目指す

本部町は、県内最大の観光施設である沖縄美ら海水族館をはじめ、美しい海が一望できる西海岸、豊かな自然に恵まれた山々が広がり、年間500万人以上の観光客が訪れる観光のまちです。平成29年には本部港が「国際旅客船拠点形成港湾」に指定され、今後ますます観光客数の増加が見込まれます。

また、リゾートホテルの建設も次々に行われ、コンドミニアム、民泊など多様な宿泊施設が充実しています。宿泊施設は5年間で約3倍に増加し、町内滞在者の増加が期待されます。

一部の観光地だけでなく、「自然」「歴史・文化」「食」などの地域資源を活用した観光プロモーションを推進することで、観光客が更に「もとぶ」を楽しめるまちづくりを目指しています。

もとぶの人



本部町観光協会
会長
當山 清博さん

本部町にはたくさんさんの観光資源があり、御光立町として質の高い「うとういむち（おもてなし）」で、リピータされる観光地作りを促進しています。今後は地域の自然、文化を守りながら、観光からまちの活性化につなげ、持続可能な観光地を目指していきます。



【国営沖縄記念公園（海洋博物館）】

昭和50年の沖縄国際海洋博覧会を記念して設置された国営公園で、多くの観光客が訪れる県内最大の観光施設。沖縄美ら海水族館をはじめ、沖縄の自然、歴史、文化を楽しめます。



【フクギ並木】

平成27年2月9日に、フクギが悠づき、共に暮らす町として「フクギの里宣言」を行いました。「備瀬のフクギ並木」は、住民が管理を行っており、沖縄の原風景と出会える人気観光地です。

本部町を楽しむ海、山、町の魅力が揃う観光スポット



【円錐カルスト】

山里地域一帯には、国内唯一の円錐カルスト地形があります。富士自然動物園協会により「ふるさと」に設定された「本部富士」や「ワフグシクムイ」もこの地区にあります。



【水納島】

本部半島の西の海上に浮かぶ水納島は、島の形から「クロワッサンアイランド」とも呼ばれています。白砂が美しく透明度の高い海はダイビングに最適で、年間約6万人が訪れます。

あっと

もとぶ元氣タ市

地域の農業と

産業の活性化を図りながら
観光客も楽しめるタ市を開催

本部町では、毎週土曜日に町産業支援センター（アジマーもとぶ）前でもとぶ元氣タ市を開催しています。タ市では野菜や果物、特産品などの販売のほか、町内芸能団体などによるステージイベントも実施。町民のコミュニケーションの場であると同時に観光客も楽しめるイベントとなっています。



あっと

もとぶ

暮らし

子どもの成長を
サポートする
住みやすいまちに

子育て支援住宅の
整備を積極的に進め、
生活しやすい
まちづくりを推進

全国的に少子高齢化が問題となる中、本部町では子育て支援を積極的に展開しています。その施策の一環として、子育て世代のための町営住宅の整備を進めており、平成30年度には字新里に2棟・16戸を整備しました。今後も令和3年度までに字謝花、具志堅、嘉津宇に合計4棟・24戸を整備していく予定です。子育て世代が生活しやすいまちづくりを推進し、若年層の定住を促すことで、人口増加及び地域活性化を図っています。

もとぶの人



地域子育て支援拠点
もとぶっこ
仲田 優子さん

「もとぶっこ」では、親同士が子育てに
対する悩みを共有し、交流をもつことを
目的とした、子育て相談や講座の開設
などの親子で楽しめる場の提供を行っ
ています。今後は子育て世帯の居場所
づくりを広げていき、地域一体となって
子育てを支援する仕組み作りを行って
いきます。

新たに施設の設置や整備を進め、子育てを支援

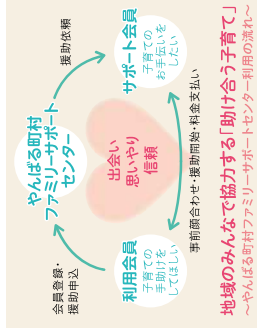


【本部町子育て世代包括支援センター】
子育て世代包括支援センターを役場内に設置し、
妊娠・出産・子育てに関する各種の相談に対応す
るほか、必要な情報提供・助言・保健指導を中心
に支援を行っています。



【放課後児童クラブ(学童)】

町内に3箇所ある放課後児童クラブでは、児童た
ちの健全な育成を図るため、適切な遊び及び生活
の場を提供しています。令和3年4月には、町内で初
となる公設民営の学童が開設する予定です。



【やんばる町ファミリーサポート】
やんばるの9町村と連携し、ひとり親家庭や経済的
なサポートを必要としている家庭に支援事業を実
施。育児の援助会員を募り、活動の調整、講習会、
交流会を行っています。



【安心して学習できる学校整備】

児童生徒が安全な環境の中で学習に取り組めるよ
う、老朽化した校舎の改築や附属設備の改修、空
調整備などに取り組んでいます。令和2年4月には、
小中一貫校の「上本部学園」が開設しました。

子ども子育てゆいまー基金

未来ある子どもたちが
豊かに暮らせるように
基金を設置して教育や
貧困対策をサポート

「子どもは地域全体の人材であり、地域全
体の宝である」という考えのもと、平成31年
度に「本部町子ども、子育てゆいまー基
金」を設けました。本基金を活用し「学力
金」の向上、「子どもの居場所づくり」「子育て
世帯への支援」などに取り組んでいます。





シニグや豊年祭など 地域に伝承されている 多彩な民俗芸能

本郷町には、祭祀や年中行事などに伴って伝承されている民俗芸能があります。代表的なものは、豊作・豊稔を祈願するシニグや豊年祭です。

シニグは、現在町内11字で旧暦の7月17日から26日の間に行われ、行事の最終日に女性たちが神アサギ前や遊び庭で「シニグ舞」を奉納します。瀬底、具志堅、備瀬のシニグは、町指定無形民俗文化財に登録されています。

豊年祭は、町内6字で3～5年回りで開催され、地域の路地を練り歩く「道ジュネー」や獅子舞、棒術、舞踊などの「村踊り」が行われています。瀬底の「獅子舞」、渡久地の「松竹梅」、並里の「満名勝」、伊豆味の「長伊平屋節」は、町指定無形民俗文化財となっています。



伝統

先人から伝わる
島の文化を守り
後世につなぐ



もどぶの人



渡久地行政区長
中曽根 義人さん

渡久地区の伝統行事である豊年祭と大綱引きは、旧暦6月15日頃に子年と午年は綱引き、卯年と酉年には豊年祭を行い、約300年以上の歴史があります。令和元年に旗頭を新調し、令和2年には渡久地伝統芸能保存会を立ち上げ、若い世代を中心に地域の活性化を図っています。



【ビージャーオーラライ】

瀬底では昔からやぎの飼育が行われ、住民の娯楽としてやぎを闘わせる「ビージャーオーラライ」が盛んです。毎年5月には大会が開催され、多くの観光客が訪れ賑わいをみせます。



【手踊リエイサー】

太鼓エイサーが主流の沖縄ですが、本郷町では、三線弾きの歌に囃しを返しながら踊る「手踊リエイサー」が多く、字で伝承されており、特徴的な伝統文化のひとつとなっています。



【健堅ハーリー】

毎年旧暦の5月に、航海の安全や豊漁を祈願するハーリーが、健堅区の浜崎港で開催されます。約80年の歴史がある伝統行事で、3年に一度、地域外のチームを招待する大会も行っています。



【藍染め】

本郷半島のほぼ中央に位置する伊豆味は古くから「琉球藍」の産地として有名で、現在も希少な琉球藍の生産に力を入れています。優しい風合いの藍染め製品は特産品として人気です。



あつと

上地完文翁銅像[沖縄空手・上地流]

伊豆味出身の上地流の開祖の銅像が海外空手家が訪れる巡礼地に



沖縄の空手3大流派のひとつ、上地流の開祖・上地完文翁の銅像が、平成30年4月に八重岳桜の森公園内に建立されました。生誕の地である伊豆味を眺め、晩年を過ごした伊江島を背に威風凛々とした銅像は、海外の空手家も多く訪れる巡礼地となっています。



シークワサー

町内の契約農家が育てたシークワサーを使い、絞汁からパック詰めまでを町内で一貫して行っている。豊かな香りとスツキリとした酸味を楽しめる。



マグロ

徹底管理された飼育で育てられたクロマグロは安心、安全。また、特殊冷凍技術により旨みを損なわず、新鮮な状態を保持している。



カツオ

がしゅまるなどの薪を使い昔ながらの製法でつくられるかつお節は、香ばしく豊かな香りを楽しむ。県内中南部から足をこぎ買い求める人も多い。



ヒージャー(やぎ)

【もとぶ山羊肉、もとぶ山羊汁】
本町で飼育されているヤギをもっと身近な存在にしたいと、ヤギ肉を使った商品を開発。



【ヤギミルクジャム】

新鮮なヤギミルクを使用したジャムは、ミルクのしっとりとしたコクとさっぱりとした甘さを楽しめる。



特産品

豊かな自然環境に恵まれた本町町
グラスややちむんなど、



陶芸

本町町には南蛮窯と登り窯など3つの窯元が存在し、伝統的なシーサーや日常的な食器など様々な陶芸品が作られている。窯元によって製法が異なり、それぞれ独特の手触りや風合いを楽しむことができる。



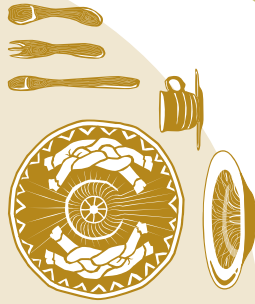
ガラス工芸

町内で作られるガラス工芸品(琉球ガラス)は、鮮やかな色合いや気泡が美しい。独自の製法により耐熱性のあるグラスも製造されている。



工芸品

には、すぐりむん(優れたもの)が豊富。
伝統的な工芸品も注目です。



マフィン

豆腐を作る際に出たおからを使い、トッピングにアセローラやタンカンといった本町の特産品をあしらったマフィン。パンケーキには本町の自然をイメージしたイラストも。



泡盛

こんこんとわき出る清水を用いて仕込まれた泡盛は風味豊か。多くの町民に愛飲されている。40年間熟成された貴重な古酒も存在する。



フクギ染め

【フクギ染めの手ぬぐいと小物入れ】
防風林としての役目を終えたフクギの皮を使い染料を抽出。時間をかけて染め上げられたフクギ染めは、おだやかで優しい色合い。



藍染め

沖縄の伝統的な染料である琉球藍は、現在は本町や北部の一部で生産されていない。藍染でただ一人の国選定保存技術者である伊野添盛正氏は、伝統的な製法で琉球藍特有の鮮やかな藍を染め、その技は注目を集めている。



木工芸

【桜の木の離乳食スプーン、桜の木のスプーン、桜の木のフォーク】 倒木した桜の木を使い、離乳食用のスプーンやフォークを製作。赤ちんが握りやすいように改良を重ねた形は愛らしく、使いやすさと好評だ。



文化財



町立博物館
「郷土と暮らしと文化」「郷土の海」「郷土の自然」をテーマとした3つの展示室には、貝塚から出土した遺物や民具、近海で見られるサングロや貝殻、町に生息する昆虫や鳥の標本などを展示。



塩川【しおかわ】
国指定天然記念物
本部町駒本部にある、日本で唯一、塩分濃度の高い河川。世界的にも珍しい川です。地域の人々からは、塩水の流れる川として「スガー」と呼ばれ親しまれています。



瀬底土帝君【せそことといくん】
国指定重要文化財/建造物
農耕神を祀る祠。向敏王代、上間家2世雄堅頼雲上が、農神土帝君の木像を請じて祀ったのが始まりといわれ、毎年旧暦の2月2日には豊年祈願の土帝君祭りが行われています。



大石原のアンモナイト化石
【おおいしはらのあんのんいらいせし】
国指定天然記念物
本部半島には古い地層が多くみられ、直径1cmから6cmくらいのアンモナイトの化石を見つけることができます。およそ2億5千万年前から7千万年前のもので、琉球列島の地史を知るための重要なものです。

県内屈指の観光エリアである本部町には悠久の時を語り継ぐ文化財が残されています。

先人たちの歩みを現代に伝える大切な財産でもある文化財。町の歴史を学び、かつての風景に思いを馳せてみましょう。



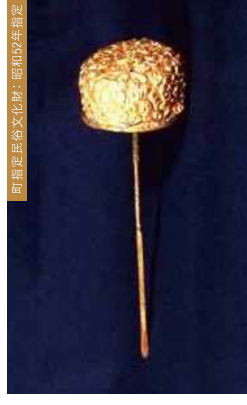
本部監視哨跡
【もとぶかんしやうあと】
谷津の舊台に位置しており、戦時中は飛来する敵の飛行機をいち早く発見し、正確な情報を日本軍の作戦室に報告するための見張り台として使用されていました。



浜元サチビン貝塚
【はまもとさちびんづか】
浜元の西海岸に突き出した琉球石灰岩台地から、海岸崖下の斜面にかけて形成された貝塚。沖縄貝塚時代前・中期における遺跡立地をよく示しており、希少な遺跡。



具志堅の神ハサギー
【ぐしけんのかみはさーぎ】
祭礼の日に守護神を招いて祭祀を行う神聖な場所。石柱が低く茅葺の屋根をのせた昔ながらの姿を残しています。建物内部にはタムト木（タモト木）と呼ばれる神木が置かれています。



瀬底祝女の簪
【せそこのおんなかんざし】
瀬底島の公儀祝女に代々伝わった簪で、首里王府から与えられたもの。祝女は村の祭祀を行う神職で、この簪は首里王府とのつながりをうに伝える貴重な文化財です。



山川垣内権現洞穴遺跡
【やまかわかきのうちけんげんどうけついいせ】
山川港原の西海岸に面した琉球石灰岩洞穴に形成された洞穴遺跡。地元では「ハチタナグンジン」と称し、盛大な清明祭を開催。無文赤鉄器土器やシャコ貝製漁撈用網遺物が採集されています。



仲村家文書
【なかにらけもんじ】
約400年前に琉球王府から発給された、辺名地の仲村家に伝わる3通の符令書の影写。この符令書から、当時の役職、三交代勤務の制度などが判明するなど、歴史を紐解く重要な史料となっています。



もとぶ八重岳まつり



シークワサー祭り



カンクスの祭り



アセローラの日



本部海まつり(ハーリー大会)



祭り& イベント

歴史や伝統を感じる行事、四季を彩る祭りなど、
本部町では、イベントがたくさん行われています。

EVENT CALENDAR

- | | |
|--|--|
| <p>1 1月初旬～2月 / みかん(タンカン)狩り始まる
1月1日～3日 / 海洋博公園新春美術展でへびる
1月中旬 / 海洋博公園全国トリムマラソン大会
1月下旬～2月初旬 / もとぶ八重岳まつり
2 2月初旬～中旬 / 沖縄国際海洋博覧会
2月9日 / フクギの日
4 4月～ / カツオ漁始まる
4月1日～ / 海開き(エメラルドビーチ)
4月下旬 / カソオのぼり掲揚
5 5月 / 国定公園カルスト山ゆり祭り
5月 / こともまつり
5月 / 瀬底島ビーチオーラサイ
5月 / アセローラの日PRイベント
5月12日 / アセローラの日
6 6月10日 / 6月10日は本部(むとぶ)の日</p> | <p>6月(旧暦5月4日) / 健甕ハーリー
6月下旬 / ドリーム歌もとぶ
7 7月初旬 / キンキン(健甕)ゴーヤスーブ
7月中旬 / 海洋博公園サマーフェスティバル
7月中旬 / 本部海まつり
8 8月初旬 / やんばる青年エイサーまつり
10 10月上旬 / シークワサー祭り
10月第2土曜日 / カーブチーの日
10月～11月 / みかん(カーブチー)狩り始まる
10月17日 / 沖縄そばの日
10月中旬 / 本部町そばの日フェスタ
12 12月初旬 / 稲祉まつり・もとぶ展
12月中旬～ / ホエールウォッチング始まる</p> |
|--|--|



沖縄国際海洋博覧会



本部町を彩るコフエスタ



もとぶ観光文化フェスタ



キンキン(健甕)ゴーヤスーブ





あっと
本部町
イラストMAP
Motobu town



第4次 本部町 総合計画

太陽と海と緑—観光文化のまち

本町は、周囲を緑深い山々に抱かれ、ふもとには平地の広がり、満ちた満ちた川が見られ、海岸には白い砂浜や豊かなイノエが見られるなど、自然に恵まれた町であります。また、多くの先人達が残してくれた英知や町民の誇り、活力を財産としながら発展してきました。本町の町づくりは、こうした財産を大切に、町民一人ひとりが潤いと活力に満ち、後世にも誇れる地域社会の実現に向け、町民が主人公となって取り組んでいくことが求められています。こうしたことから、本総合計画においては本部町民憲章をまちづくりの基本理念として掲げ、地域との協働のもとにまちづくりに取り組んでいくこととします。

① 産業・経済 | 活力と魅力が融和する元気なまちづくり

② 都市・集落環境、景観保全 | 豊かな自然を活かし共生する住みよいまちづくり

③ 健康・福祉、生活環境 | あたたかさと安らぎに満ちた癒しのまちづくり

④ 教育・文化 | 「武本部」の精神で、未来を担い、ふるさと愛を育むまちづくり

⑤ 安全・コミュニティ | 強い絆と和を備えた柔軟なまちづくり

産業・経済

活力と魅力が融和する元気なまちづくり



アゼローラ畑



かつお節



輪ギクの栽培



タンカン

農林水産業の高付加価値化

農林水産業は、本町の基幹産業である一方、後継者不足や農業従事者の高齢化、社会構造の変化、農作物輸入の規制緩和等に伴い、経営体数が年々減少傾向にあります。そこで、生産環境や技術の向上、後継者の育成・確保、産物の特産品化・高付加価値化等に努

め、安定した農林水産業経営の確立を進めていきます。「地元ブランド」の創出への期待も高まっており、町全体でブランド化に向けた取り組みを継続していきます。



多機能型観光支援施設

地域力を活かした観光の高度化

沖縄県北部地域における観光拠点として本町が担う役割は非常に大きく、今後は数多く点在する様々な資源を十分に活かした、着地型観光商品の開発や保養・滞在型観光プログラムを創出します。さらに、行政や観光関連団体のみなならず住民やボランティア団体等が一体となったポズビタリティの醸成に努め、地域ぐるみの活動を展開してまいります。

にぎわいと活力あふれる商工業の振興

観光産業と連動した新たな商業展開や農水産物・工芸を活用した特産品の開発を進めるとともに、経営改善普及事業や各種講習会といった基本施策を引き続き推進し、中小零細企業における経営の安定化を促進します。また、町産業支援センターや町物流拠点施設などを有効活用し、各種加工品及び製造業関連製品などの販路拡大を図り、工業を含めた新たな地場産業の振興に努めます。



本部町産業支援センター

産業・経済を担う人材の育成

高付加価値な特産品の開発をはじめ、産学官の連携などによる、新たな産業の創出、企業に携わる人材の発掘及び育成に力を入れます。また、雇用機会の創出と就労支援の取り組みや、仕事と生活の調和のとれた社会（ワーク・ライフ・バランス）の実現に向けた取り組みとある就業環境を創り出します。

商工会と連携し、事業所への支援として、人材育成・技術向上のための研修会等を実施し、新たな起業家、人材の発掘・育成も支援します。



本部高校生インターンシップの様子

都市・集落環境、景観保全

豊かな自然を活かし共生する住みよいまづくり



町内の街並みと瀬底島の風景

豊かな太陽と 海と緑の 保全と創造

豊かな緑地や美しい海浜に代表される自然環境を今後とも守り続けていくことを基本にしながら、八重岳牧の森公園周辺及び山里円錐カルスト公園などの整備を積極的に推進。エコツーリズムといった観光・レクリエーションでの利用に加え、地域における環境学習へ

の活用を図ります。海域の保存については、赤土流出の防止など陸域からの被害低減に努め、海岸漂着ごみの清掃などを実施し、市民の自然保護・環境保全に対する意識高揚を促進します。



もとぶ手作り市

地域特性に応じた 都市機能の配置

中心市街地では、川や港とともに育まれてきた歴史を活かした市街地整備を目指します。そのため、本部港（渡久地地区）や満名川を利活用した観光・レクリエーション機能の向上に努め、観光客と地域の人々が交流するにぎわい空間の整備を推進します。また山地部の集落では、屋敷林や石垣、坪所、井泉といった歴史的資源を積極的に保全し、後世へと受け継いでいきます。

魅力ある集落空間の創造

本部町景観計画に基づき景観の保全を推進し、リゾート地域の適正な景観形成を図るため「本部町景観形成重点地区指定」を実施しています。集落景観を構成するフクギ並木や屋敷林、坪所、石垣といった資源を保全していくとともに、地域住民の意識高揚を図ることにより、沖縄独自の集落景観を創出します。



フクギ並木の小道

交流・流通の活発化を促す 交通・情報網の充実

車社会に対応した円滑な交通と安全性を重視して、町民生活の利便性及び快適性の確保などを一層高める総合的な道路整備を進めます。また、児童生徒や高齢者、観光客などが主に利用するバスの路線網の改善にも着手。情報化社会への対応としては、観光や災害対応、広報など様々な分野で活用できるよう通信ネットワークの整備を推進します。



幹線道路

都市の快適性を高める 基盤の整備

町民の生活環境の向上を目指し、河川・排水路、上下水道、公園を適切に整備します。また、「北部連携促進事業」などを活用し町営住宅の整備を行い、地域における定住環境の向上に努めます。

そのほか、高齢者・障がい者住戸の配置を検討するなど社会福祉的視点も重視し、定住人口の確保、快適な生活環境の形成を進めます。



桜の森公園の遊具

健康・福祉、生活環境

あたたかさと安らぎに満ちた癒しのまちづくり



校の森公園で遊ぶ子供たちの様子

未来を築く 元気な子どもの 育成

共働きや就労形態の変化に伴う保育ニーズを把握し、待機児童解消に向けた新規の保育園の整備計画を進めます。さらに、「一時預かり事業」・「ファミリーサポーターセンター事業」・「子育て支援拠点事業」などの拡充をし、

いきいきと暮らせる 健康長寿の推進

高齢者が住み慣れた地域で誇りを持って生活できるよう、生きがいづくりの充実を図りながら、自ら健康づくりや介護予防に取り組めるように、「運動教室」や「料理教室」など、各種事業を推進します。認知症高齢者等に対する総合的な相談窓口を充実させるとともに、医療・介護・生活支援などが包括的に確保される体制の強化を図り、地域であたたかく見守り支え合える地域づくりに取り組んでいます。



老人スポーツ



海陽園関連施設での就労風景

みんなが健康で元気に暮らせる 保健・医療の充実

町民一人ひとりが「自分の健康は自分で守る」という自覚の下、様々な活動が行えるよう健康に関する知識の普及啓発を強化します。保健対策事業では、「健康日本21」などの基本理念に基づき、疾病の早期発見や早期治療に努めます。また、町民の健康増進及び疾病予防のため、施策の充実強化を推し進めるとともに、生活保護世帯に対して、就労等への相談・指導にも力を入れます。



住民健診の様子



海岸掃除

環境保全の推進

地球温暖化対策や省エネルギーなどの環境対策に積極的に取り組む、環境負荷の少ない循環型社会の形成を目指します。ごみの排出抑制やリサイクルなどによる資源循環を推進するとともに、不法投棄監視ハットロールを行い、不法投棄の取り締まり強化を図ります。そのほか、生活排水対策や美化活動などによる河川環境や海域環境の保全と再生にも力を入れて、改善を目指します。

快適な生活環境の確保

良好な町民生活の確保に向けて、大気、水、土壌、騒音・振動などの環境質の保全と改善を図ります。施策としては、「台湾ハブなどの外来種対策事業」などを実施し、外来生物の個体抑制に努めます。また、「公害発生源の監視・指導」にも力を入れ、公害発生源の規制強化を図ります。そのほか、「動物愛護週間広報」などを実施し、ペットの適正飼養の普及に取り組みます。



ハブの駆除

教育・文化

「武本部」の精神で、未来を担い、
ふるさと愛を育む人づくり



授業風景



短期留学

次代を担う 人材の育成

「進取の気性」「質実剛健」を兼ね備えた町民気質「武本部（ブームトアップ）の精神」で、現代社会を主体的に乗り越えていける人材の育成に努めています。学校教育、生涯教育、ボランティア活動等の充実から健全な心と体を育み、新たな分野に情熱を持って挑戦する、ふるさと愛にふれられる人づくりを推進します。

また、ICT事業を導入し、電子黒板及びタブレット端末を活用した授業を実施するなど、工夫を講じて、確かな学力を身につける教育、個性を大切にできる教育、国際化に対応できる教育に力を入れます。



町内サークル活動

郷土もとぶを愛する人づくり、 生涯を通して学ぶ豊かな人間形成

ふるさとへの思いが芽生える実践を推進し、地域を先導する人材の育成に注力します。地域住民の多様な学習ニーズに対応した各種生涯学習事業の展開を図るとともに、可能な限り本町の観光振興に寄与する人材の育成に努めます。また、教育機関や社会教育団体などの各種機関と地域との連携を深めつつ、生涯学習を推進する体制を確立し、町民が主体的に社会教育活動へ参加できるための普及啓発を促進します。

健全な心と身体を育む スポーツ・レクリエーションの推進

町民の健康維持・増進を図るため、スポーツ・レクリエーション大会など各種事業を展開します。基本的には既存の体育施設の利用促進を図りつつ、町民ニーズを把握した上で新たな施設整備を検討します。また、各種スポーツ大会の誘致を推進し、「プロサッカー教室」、「プロ野球教室」などを実施して、子どもとプロスポーツ選手との交流の場を作り、スポーツを通して県内外との人事交流といった機会の創出を図ります。



サッカー教室



文化協会の活動

地域の誇りある 歴史・文化の継承と創造

本町に関連する古い写真をはじめとする各種資料の収集を行うとともに、『本郷町の文化財』については民俗のみならず、今後は動植物などその収録分野の拡大も検討。さらに、文化財を教育や観光面において活用するため、案内ガイドの養成に取り組みます。また、地域における各種団体の活動状況等の実態を把握した上で、関係団体との連携を図りつつ地域活性化に関する活動を推進します。

開かれた交流社会の創造

友好関係都市との交流促進を図り、児童生徒の学校間交流及び、外国への短期留学事業を推進します。また、国際的に活躍できる人材を育成するため、外国語教育に力を入れ、外国人青年語学指導員（ALT）を配置し、児童生徒が本場の英語に触れる機会を創出します。南米子弟の受け入れを実施してきた「南米子弟受入事業」は、今後も継続実施し、国際交流を図っていきます。



韓国留学生との交流

安全・コミュニティ

強い絆と和を備えた柔軟なまちづくり



防災訓練

災害に強い まちづくりの 推進

本部町地域防災計画に基づき、食料の備蓄、地域住民の防災組織づくりを行います。また、避難路の整備、かけ地の防災事業など、ソフトとハードの両面からの防災体制の確立に取り組みます。危険箇所の改修・施設整備に当たっては、国や県と連携を図り必要に応じて検

討・対策していきます。消防・救急については、「本部町今帰仁村消防組合」を中心に地域の防火組織の強化を図るなど、住民の生命・身体及び財産を災害から保護する災害に強いまちづくりを目指します。

支え合いの地域社会の形成

地域の自発的なコミュニティ活動への支援策について検討を行い、活力のある地域づくりを目指します。また、まちづくりに関わる各種委員会等での意志決定段階において積極的に女性参画を推進。男女共同参画社会の実現に向け努力するとともに、町民ぐるみで交通安全に対する意識高揚を図るとともに、青少年の非行防止、犯罪の未然防止に努め、安心して暮らせるまちづくりを推進します。



交通安全出発式



交通安全街頭指導

交流と連携による 協働のまちづくりの推進

町民と行政のパートナーシップの構築・強化を図るため、広報活動の拡充や情報公開の推進、説明責任の徹底に努めます。また、NPO・ボランティア団体等の創出・育成に力を入れ、地域のニーズや実情に応え、きめ細かな施策を展開します。複雑多様化する行政需要に対応するため、合理的かつ弾力的な行政組織を構築し、事務処理の簡素化、効率化を図ります。



潮底豆まつり



豊年祭



議会・行政

～ 活力あふれるまちづくりを目指して～

本部町議会 議員



議長

石川 博己



副議長

崎浜 秀進



宮城 達彦



喜納 政樹



松川 秀清



座間味 栄純



具志堅 勉



具志堅 正英



伊良波 勤



小橋川 健



比嘉 由具



崎浜 秀昭



仲宗根 須磨子



真部 卓也



町民サービスの向上と
安心・安全な暮らしのための防災拠点として

本部町役場新庁舎

平成26年10月に落成した本部町役場庁舎は、行政サービスをより迅速、確実に提供するため工夫が施されています。どなたでも利用しやすいよう通路やトイレにはバリアフリー化が施され、防災拠点としての機能も強化されています。



町長
平良 武康



副町長
伊野波 盛二



教育長
知念 正昭

旧上本部村役場庁舎

昭和46年の合併後、昭和49年までは本部町役場跡地として、平成26年までは公営企業課（水道課）として活用されてきました。



旧本部町役場庁舎

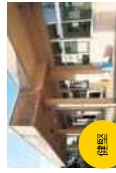
昭和34年に落成し、その後、増築などを行いながら57年間に、町の発展を見守ってきました。



須底



向本部



伊豆味



大浜



谷芝
辺名地



瀬久地



大塚山



伊豆味



伊豆



赤元



御花



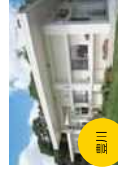
具志堅



新里



鹿瀬



豊川

【文化財】
新牙館
TEL/FAX 48-2511

【文化財】
増ハサギ（即指定有形民俗文化財：昭和52年指定）
山重の村
TEL/FAX 48-2311

【文化財】
増ハサギ（即指定有形民俗文化財：昭和52年指定）
山重の村
TEL/FAX 48-2311

【文化財】
増ハサギ（即指定有形民俗文化財：昭和52年指定）
山重の村
TEL/FAX 48-2311

【文化財】
増ハサギ（即指定有形民俗文化財：昭和52年指定）
山重の村
TEL/FAX 48-2311

友好都市

北海道 南富良野町

南富良野町との親善交流

本町町と南富良野町は、昭和62年に本町町、平成元年に南富良野町で開催された国民体育大会のカーン競技をきっかけに交流が始まり、平成8年に「友好の町」として盟約を締結しました。以来、相互訪問などの文化体験交流を重ね、本町町親善交流団としてこれまでに、300人以上の児童生が南富良野町を訪れています。



友好都市

福岡県 小郡市

小郡市との児童交流がきっかけ

本町町と小郡市の交流は、昭和56年に当時の小郡青年会議所（現・みい青年会議所）主催の児童交流を目的とした「少年の集」の一行が本町町を訪れ、当時の本郡青年会議所（現・本郡商工会青年部）が受け入れたことがきっかけで始まりました。平成29年11月に本郡町、小郡市、本郡商工会青年部、みい青年会議所の四者による「友好のまち」協定を締結。現在では、両市町の祭りイベントにおいて、お互いの特産品の紹介や物産展を行うなど両団体の人事交流、さらには経済面にまで拡大し、活性化しています。



交流事業

人と人、
文化をつなぐ交流

南米本郡町出身、子弟研修生受け入れ事業

本郡町は、戦前から戦後の復興期にかけて、南米に渡った本郡町出身者から多くの援助をいただきました。その恩返しや、本郡町と南米諸国のかけ橋となる人材の育成を目的に平成7年から、ペルー、アルゼンチン、ブラジルの3カ国から研修生の受け入れを行っています。
研修生は、語学研修や、三線教室、町内の各種イベントなどへの参加を通して沖縄や本郡町の文化を学び、その多くが南米3カ国と本郡町をつなぐ本郡町入会の活動のけん引役として活躍しています。

資料編

- 34 統計から見る町民のくらし
- 35 土地および気象
- 36 地形・面積
- 37 人口
- 38 行政組織図
- 39 歴代町長・議長
- 40 財政
- 41 特別会計
- 42 産業
- 45 教育
- 46 福祉・保健衛生
- 48 消防・警察
- 50 選挙
- 51 公共機関その他施設
- 52 本郡町の歴史
- 53 本郡町のあゆみ
- 65 本郡町の豆知識



統計から見る町民のくらし

人口密度 町面積51.254km²
1km²に0.26人

世帯人数 6,405世帯
1世帯に2.05人

転入 年 670人
1日に1.8人

転出 年 664人
1日に1.8人

人口 13,136人 (令和2年3月末現在)

出生 年 110人
3.3日に1人

死亡 年 164人
2.2日に1人

結婚 年 68件
5.4日に1組

離婚 年 19件
19.2日に1組

ゴミ収集量 年 5,638t
1日1人あたり1.2kg

水道使用量 年2,059,713m³
1日1人あたり430ℓ

火災 年 5件
73日に1件

救急出動 年 942件
1日に2.6件

町職員 130人
町民101人に1人

町議会議員 14人
町民938人に1人

一般会計の決算(歳出) 86億5,703万円
町民1人当たり65万9,030円

町税負担 12億1,911万円
町民1人当たり9万2,807円

位置・地勢・気候

本郡町は沖縄本島北部、東シナ海に突出した本部半島の西半分を占め、南部は名護市、北東部は今帰仁村に隣接しています。地形は大きく山地と台地・低地に分かれ、本部半島のほぼ中央を西に流れる満名川により、南北に二分されます。半島南側には、標高453mの八重岳を中心に古生代ペルム紀の石灰岩(本部層)を主体とした山地が連なります。半島北側では、泥質岩(与那国層)を主体とした標高300m以下の山地が連なり、山里・大堂には、中生代三畳紀の石灰岩からなる円錐カルスト地域が広がっています。浦崎から備瀬、具志堅にかけての地域や瀬底島、水納島は、新生代第四紀のサンゴ礁を起源とする石灰岩(琉球密群)が標高70m以下の広い台地をつづいています。伊野波から渡久地には沖縄屋敷なる低地が広がり、かつては満名タープンと呼ばれる稲作地域でした。また、瀬底島や水納島、半島海岸部にはサンゴ礁が縁取り、美しい裾礁をつくっています。

気候は亜熱帯に属する沖縄。本郡町も年平均気温が24.2℃と温暖で、年間降水量が2475.5mmとなります。

気象観測

単位：気温℃ 雨量mm

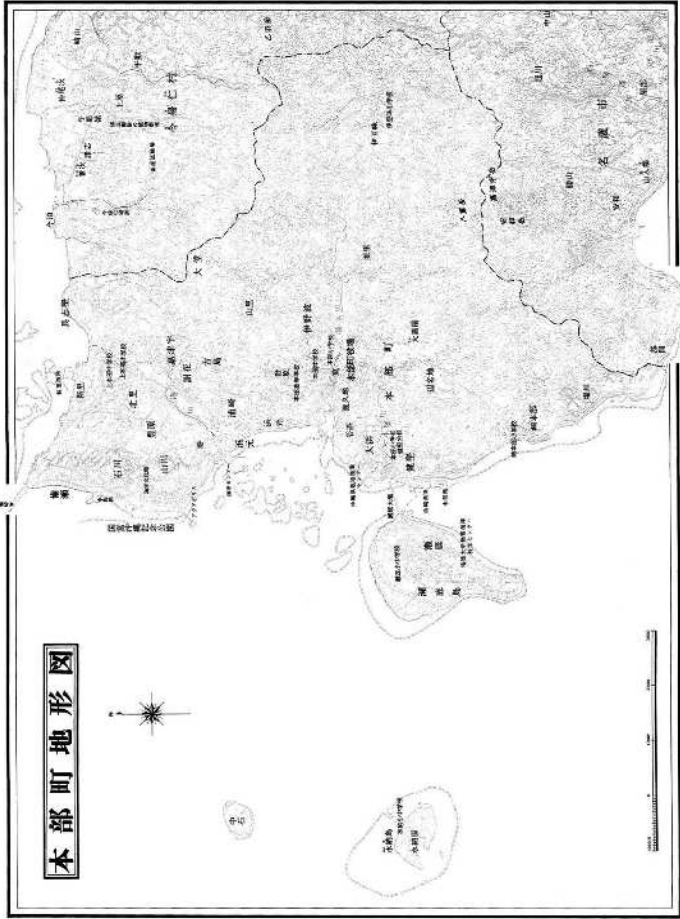
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
平成27年	17.4	31.0	17.1	47.5	19.1	68.5
平成28年	18.6	300.0	17.1	123.5	18.4	221.0
平成29年	17.1	84.0	17.1	145.5	20.3	119.5
平成30年	18.4	113.0	19.9	78.0	20.0	117.0
令和元年	18.8	42.5	19.0	114.5	20.4	199.0
平均	18.1	114.1	18.0	101.8	19.6	145.0

	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成27年	29.7	500.0	29.6	303.5	28.4	35.5
平成28年	30.8	82.5	30.5	185.5	28.9	230.5
平成29年	31.1	25.0	31.2	61.0	29.3	128.5
平成30年	29.2	219.5	29.5	207.0	28.9	468.5
令和元年	29.9	111.5	30.0	255.5	28.4	318.0
平均	30.1	187.7	30.2	202.5	28.8	236.2

	年間降水量
平成27年	24.0
平成28年	24.6
平成29年	24.0
平成30年	24.2
令和元年	24.2

気温℃ 雨量mm 毎日10:00と18:00の観測データの平均月の合計

資料：上下水道課



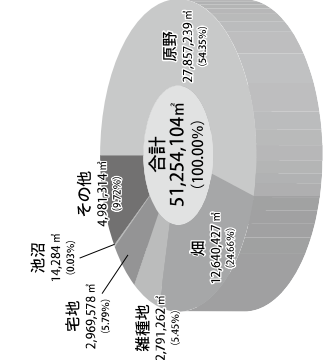
字別面積

字	面積(m ²)	字	面積(m ²)
瀬底	3,136,512	浜元	580,075
崎本部	5,475,895	浦崎	643,490
健壁	2,239,625	古島	886,424
辺名地	3,077,369	大室	896,620
大浜	593,126	謝花	431,060
谷茶	268,854	北里	1,298,911
渡久地	657,257	嘉津宇	1,051,611
東	397,952	具志堅	1,912,908
大嘉陽	2,023,298	新里	817,100
伊豆味	10,496,385	備瀬	1,356,620
並里	4,556,357	石川	849,633
伊野波	2,947,496	山川	1,194,014
山里	1,991,991	豊原	907,749
野原	565,772	計	51,254,104

※無番地及び里道を除く

資料：住民票

地目別面積



資料：住民票

住民基本台帳による字別人口・世帯数の推移

字名	平成27年				平成28年				平成29年				平成30年				令和元年			
	総数	男	女	世帯数	総数	男	女	世帯数	総数	男	女	世帯数	総数	男	女	世帯数	総数	男	女	世帯数
	871	455	416	400	860	445	415	398	851	436	415	400	852	439	413	409	817	416	401	400
瀬底	726	365	361	326	724	359	365	332	704	356	329	691	354	329	691	354	367	363	341	341
崎本部	666	344	322	308	679	352	327	319	647	337	310	312	633	326	307	306	622	327	295	306
健壁	442	231	211	194	441	228	213	201	437	223	214	188	433	223	210	192	416	215	201	188
辺名地	1,321	665	656	596	1,318	647	671	602	1,284	637	647	594	1,269	631	638	607	1,280	639	641	611
大浜	822	382	440	451	791	359	432	447	783	356	427	439	775	358	417	438	759	351	408	443
谷茶	1,198	589	609	529	1,180	592	588	533	1,193	604	589	539	1,161	588	573	530	1,160	584	576	545
渡久地	1,251	633	618	525	1,259	641	618	532	1,288	654	634	541	1,263	644	619	541	1,257	635	622	546
東	126	68	58	53	122	66	56	52	103	58	45	50	101	57	44	47	101	56	45	45
大嘉陽	813	426	387	381	783	376	381	376	765	396	369	375	756	390	366	372	734	360	370	370
伊豆味	255	130	125	118	243	125	118	119	228	120	108	115	223	116	107	111	230	115	115	117
伊野波	630	319	311	234	627	309	318	235	634	312	322	236	629	306	323	242	617	303	314	240
山里	203	114	89	86	203	116	87	86	208	116	92	96	223	118	105	215	116	99	108	108
野原	289	157	137	112	291	151	140	112	284	150	134	112	279	149	130	111	279	148	131	114
浜元	485	254	231	247	457	245	212	242	505	262	243	270	520	278	242	286	519	284	235	285
浦崎	318	166	152	135	311	162	149	136	295	156	139	137	298	157	141	139	298	158	140	144
古島	97	51	46	43	86	45	41	42	86	44	42	43	86	43	43	42	82	41	41	42
大室	53	29	24	22	50	28	22	21	47	28	19	22	47	27	20	23	50	28	22	24
謝花	322	164	158	133	310	160	150	130	285	144	141	126	297	151	146	133	299	153	146	129
北里	325	183	142	123	321	178	143	122	321	174	147	124	325	172	153	129	359	193	166	132
嘉津宇	96	51	45	51	100	55	45	54	98	54	44	54	93	52	41	56	92	53	39	55
具志堅	460	236	224	227	459	244	215	234	427	220	215	234	427	220	215	234	427	220	215	234
新里	379	195	184	156	353	180	173	145	349	179	170	147	346	180	166	146	401	209	192	160
備瀬	497	256	241	274	493	255	238	281	508	265	241	244	495	261	244	295	478	243	235	288
石川	187	101	86	99	190	103	87	108	197	104	93	113	191	98	93	110	184	95	89	103
山川	530	260	270	280	555	268	287	299	555	268	287	293	570	278	292	321	588	278	310	334
豊原	228	112	116	104	230	112	118	99	234	114	120	102	231	112	119	224	210	114	114	108
合計	13,590	6,931	6,659	6,207	13,441	6,832	6,603	6,265	13,348	6,791	6,557	6,284	13,234	6,735	6,499	6,362	13,191	6,714	6,477	6,420

各年12月末現在 ※水俣島は瀬底に含む 資料：住民票

国勢調査人口および世帯数の推移

年	A+B				本 部 町				旧上本部村			
	計(A)	男	女	世帯数	計(B)	男	女	世帯数	計(B)	男	女	世帯数
	22,492	11,687	11,805	4,132	—	—	—	—	—	—	—	—
大正 9年	21,859	10,547	11,312	4,289	—	—	—	—	—	—	—	—
14年	23,281	10,902	12,379	4,455	—	—	—	—	—	—	—	—
昭和 5年	21,963	10,350	11,613	4,544	—	—	—	—	—	—	—	—
10年	20,409	9,417	10,992	4,375	—	—	—	—	—	—	—	—
15年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20年	21,010	9,734	11,276	4,266	6,542	2,888	3,654	1,414	—	—	—	—
25年	22,854	10,825	12,029	4,455	5,749	2,721	3,028	1,190	—	—	—	—
30年	21,442	10,350	11,092	4,375	5,077	2,402	2,675	1,122	—	—	—	—
35年	19,657	9,417	10,240	4,375	4,589	2,192	2,397	1,029	—	—	—	—
40年	17,152	8,222	8,930	3,022	3,488	1,635	1,853	947	—	—	—	—
45年	17,823	9,001	8,822	4,319	—	—	—	—	—	—	—	—
50年	15,307	7,609	7,698	4,352	—	—	—	—	—	—	—	—
55年	15,116	7,551	7,565	4,455	—	—	—	—	—	—	—	—
60年	15,043	7,455	7,588	4,604	—	—	—	—	—	—	—	—
平成 2年	14,718	7,303	7,415	4,675	—	—	—	—	—	—	—	—
7年	14,522	7,266	7,256	4,706	—	—	—	—	—	—	—	—
12年	14,383	7,163	7,220	4,818	—	—	—	—	—	—	—	—
17年	13,870	6,989	6,881	5,049	—	—	—	—	—	—	—	—
22年	13,536	6,902	6,634	5,237	—	—	—	—	—	—	—	—
27年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※昭和22年8月1日、本部町から上本部村が分村、昭和46年11月1日再び合併

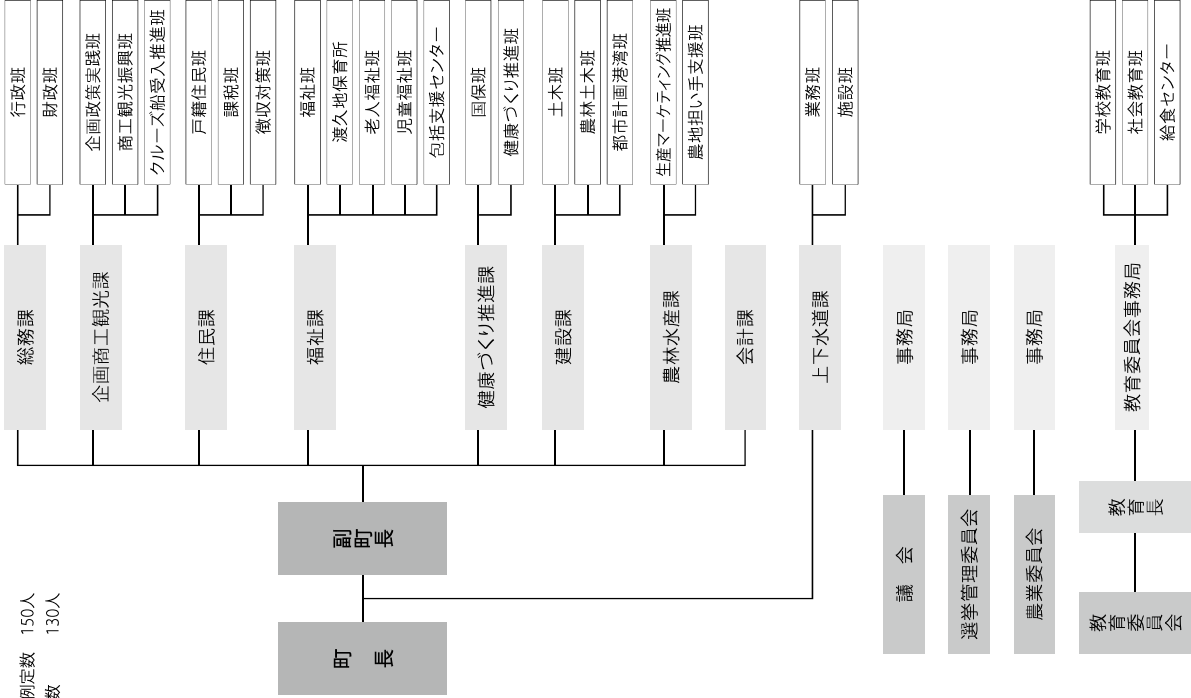
※昭和15年～30年は12月1日現在、その他の年は10月1日現在

資料：国勢調査報告書

本部町行政組織図

(令和2年4月1日現在)

条例定数 150人
実数 130人



歴代地頭代、間切長、村長、町長

職別	氏名	就任年月日	退任年月日
地頭代	金城俊助	不 明	不 明
〃	興那頼寛角助	〃	〃
間切長	仲宗根源藏	〃	〃
〃	並里仙吉	〃	〃
〃	仲里十三郎	明治 33 年	明治 37 年 2 月 10 日
〃	玉城利助	明治 37 年 2 月 11 日	明治 38 年 11 月 30 日
〃	嘉数宜良	明治 38 年 12 月 1 日	明治 41 年 3 月 31 日
村長	〃	明治 41 年 4 月 1 日	明治 43 年 7 月 21 日
菅峯村長	榎村長丈	明治 43 年 7 月 22 日	明治 43 年 10 月 31 日
村長	上間徳之助	明治 43 年 11 月 1 日	大正 2 年 4 月 10 日
〃	中原英仁	大正 2 年 4 月 11 日	大正 10 年 6 月 30 日
〃	上間徳之助	大正 10 年 7 月 1 日	大正 12 年 6 月 29 日
菅峯村長	比嘉義源	大正 12 年 6 月 30 日	大正 12 年 9 月 30 日
村長	金城利次郎	大正 12 年 10 月 1 日	昭和 2 年 11 月 3 日
〃	仲宗根源栄	昭和 2 年 11 月 4 日	昭和 14 年 4 月 8 日
菅峯村長	比嘉良敬	昭和 14 年 4 月 9 日	昭和 14 年 5 月 9 日
臨時村長	仲宗根嘉四郎	昭和 14 年 5 月 10 日	昭和 14 年 6 月 29 日
村長	嘉数宜有	昭和 14 年 6 月 30 日	昭和 15 年 12 月 14 日
町長	〃	昭和 15 年 12 月 15 日	昭和 18 年 8 月 5 日
菅峯村長	比嘉幸安	昭和 18 年 8 月 6 日	昭和 19 年 2 月 17 日
〃	稲織成珍	昭和 19 年 2 月 18 日	昭和 19 年 4 月 5 日
町長	山城宗雄	昭和 19 年 4 月 6 日	昭和 20 年 11 月 30 日
〃	金城正幸	昭和 20 年 12 月 1 日	昭和 21 年 4 月 29 日
〃	山川宗道	昭和 21 年 4 月 30 日	昭和 23 年 2 月 28 日
〃	兼次佐一	昭和 23 年 3 月 1 日	昭和 25 年 7 月 16 日
〃	上原嘉四郎	昭和 25 年 7 月 18 日	昭和 29 年 9 月 20 日
〃	玉城利清	昭和 29 年 9 月 21 日	昭和 37 年 9 月 21 日
〃	渡久地政仁	昭和 37 年 9 月 22 日	昭和 45 年 9 月 21 日
〃	並里安博	昭和 45 年 9 月 22 日	昭和 61 年 9 月 21 日
〃	金城英克	昭和 61 年 9 月 22 日	平成 6 年 9 月 20 日
〃	長濱徳松	平成 6 年 9 月 21 日	平成 10 年 9 月 20 日
〃	仲饒昌盛順	平成 10 年 9 月 21 日	平成 18 年 9 月 20 日
〃	高良文雄	平成 18 年 9 月 21 日	平成 30 年 9 月 20 日
〃	平良武康	平成 30 年 9 月 21 日	—

令和 2 年 8 月 1 日現在

旧上本部村歴代村長

歴代	氏名	就任	退任
1	嘉数宜有	昭和 22 年 8 月 1 日	昭和 25 年 4 月 9 日
2	宮里真	昭和 25 年 4 月 10 日	昭和 33 年 4 月 6 日
3	鶴平名和永	昭和 33 年 4 月 7 日	昭和 41 年 4 月 7 日
4	渡久地政紀	昭和 41 年 4 月 8 日	昭和 45 年 4 月 7 日
5	中松松秀	昭和 45 年 4 月 8 日	昭和 46 年 10 月 31 日

昭和 22 年 8 月 1 日本部町より分村、昭和 46 年 11 月 1 日合併

旧上本部村歴代議会議長

歴代	氏名	就任	退任
1	宮里真	昭和 23 年 9 月 23 日	昭和 25 年 3 月
2	仲里松吉	昭和 25 年 4 月 1 日	昭和 25 年 10 月
3	大村光栄	昭和 25 年 10 月 7 日	昭和 36 年 3 月
4	山内昌寛	昭和 36 年 3 月 28 日	昭和 44 年 3 月
5	浦崎直成	昭和 44 年 3 月 28 日	昭和 46 年 10 月 31 日

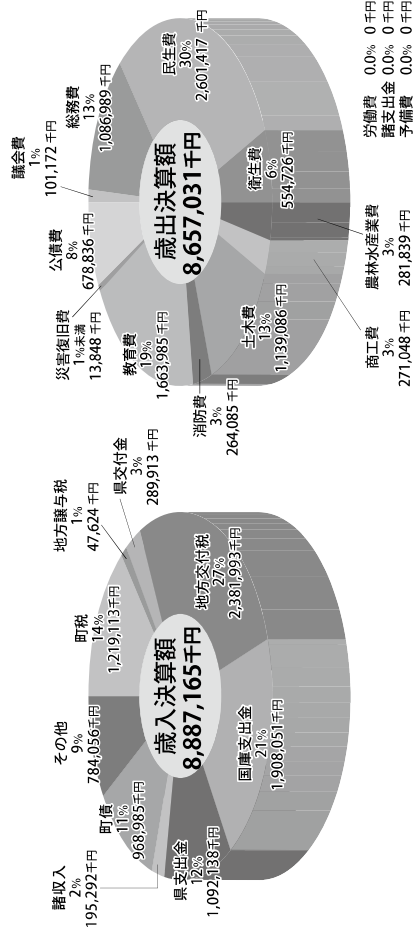
昭和 22 年 8 月 1 日本部町より分村、昭和 46 年 11 月 1 日合併

歴代議会議長(戦後)

歴代	氏名	就任	退任
1	中原幸通	昭和 23 年 10 月	昭和 24 年 11 月 2 日
2	中曾根源栄	昭和 24 年 11 月 3 日	昭和 25 年 9 月 9 日
3	親川孫藏	昭和 25 年 9 月 10 日	昭和 28 年 3 月 28 日
4	中曾根源栄	昭和 28 年 3 月 29 日	昭和 34 年 3 月 24 日
5	仲里貞盛永	昭和 34 年 3 月 25 日	昭和 36 年 3 月 28 日
6	親川孫藏	昭和 36 年 3 月 29 日	昭和 44 年 3 月 28 日
7	島崎正吉	昭和 44 年 3 月 29 日	昭和 55 年 3 月 28 日
8	玉城登	昭和 55 年 3 月 29 日	昭和 56 年 3 月 28 日
9	浦崎清成	昭和 56 年 3 月 29 日	昭和 60 年 3 月 28 日
10	長嶺清治	昭和 60 年 3 月 29 日	平成 5 年 3 月 28 日
11	岸本憲光	平成 5 年 3 月 29 日	平成 9 年 3 月 28 日
12	喜納政軌	平成 9 年 3 月 29 日	平成 13 年 3 月 28 日
13	仲村幸松	平成 13 年 3 月 29 日	平成 17 年 3 月 28 日
14	石川博巳	平成 17 年 3 月 29 日	平成 18 年 8 月 29 日
15	小浜利秀	平成 18 年 9 月 29 日	平成 21 年 3 月 28 日
16	具志堅透	平成 21 年 3 月 29 日	平成 24 年 2 月 13 日
17	大城正和	平成 24 年 2 月 14 日	平成 25 年 3 月 28 日
18	島袋吉徳	平成 25 年 3 月 29 日	平成 29 年 3 月 28 日
19	石川博巳	平成 29 年 3 月 29 日	—

令和 2 年 8 月 1 日現在

平成30年度 一般会計決算



一般会計 決算の推移

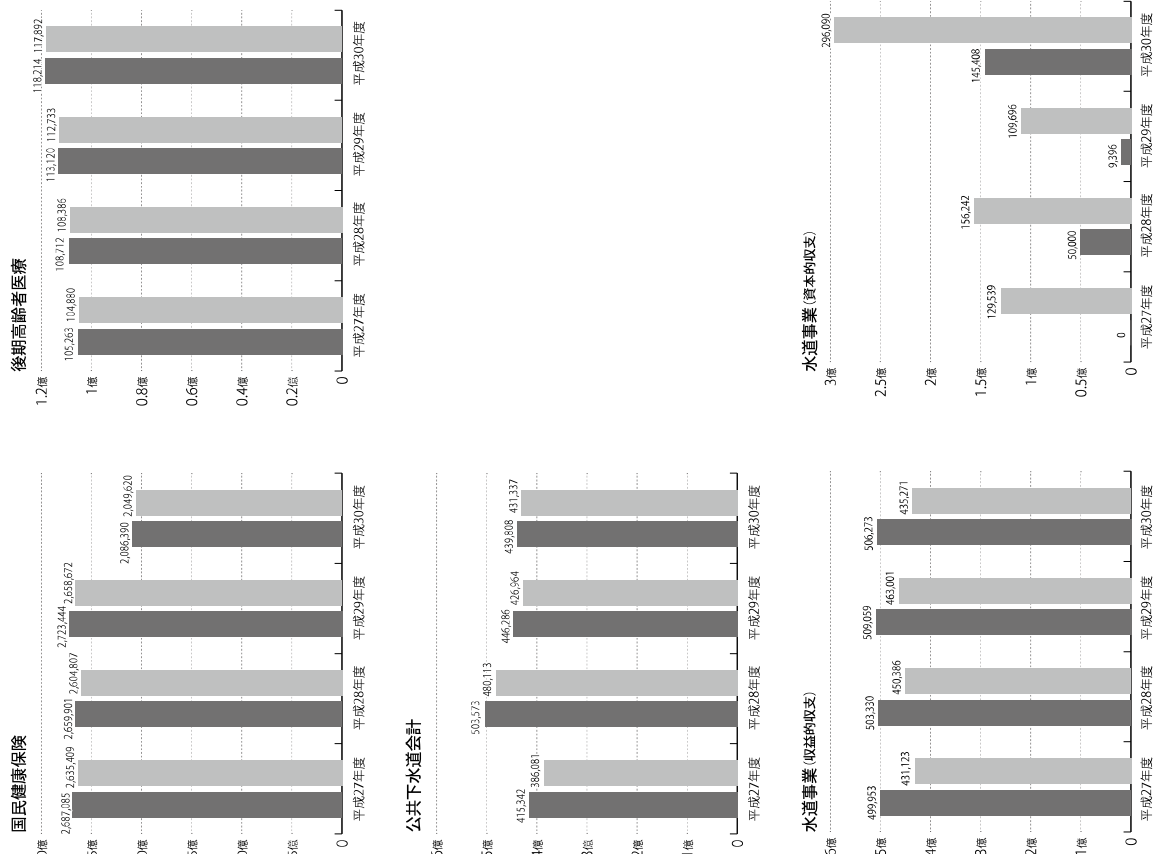
歳入

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
一般会計	7,557,905	8,040,715	8,395,864	8,887,165
町税	1,046,491	1,103,627	1,163,004	1,219,113
地方譲与税	51,706	47,471	47,250	47,624
利子割交付金	1,064	629	767	623
配当割交付金	2,141	1,028	1,557	1,034
株式等譲渡所得割交付金	1,733	811	1,735	892
地方消費税交付金	227,959	205,728	217,329	239,285
ゴルフ場利用税交付金	19,163	18,824	18,617	18,094
特別地方消費税交付金	0	0	0	0
自動車取得税交付金	9,074	9,002	12,359	13,984
施設等所在市町町税交付金	13,247	13,065	12,746	12,124
地方交付税	2,575,480	2,526,629	2,443,591	2,381,993
交通安全対策特別交付金	974	1,037	1,226	1,182
分担金及び負担金	64,039	53,163	66,129	70,561
使用料及び手数料	95,253	115,436	114,967	112,379
国庫支出金	1,234,976	1,503,983	1,934,884	1,908,051
県支出金	955,054	1,114,271	1,191,047	1,092,438
財産収入	51,317	28,554	26,887	30,912
寄付金	9,735	61,173	106,014	183,327
繰入金	69,066	7,031	40,461	35,964
繰越金	448,287	449,787	220,033	350,913
歳収入	189,928	167,993	222,301	195,292
町債	489,912	609,203	560,393	968,985

資料：総務課

特別会計 決算の推移

歳入 歳出 単位：千円



産業別就業人口(15歳以上)

区 分	平成7年			平成12年			平成17年			平成22年			平成27年		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
計	6,346	3,817	2,529	6,185	3,719	2,466	5,975	3,411	2,564	6,304	3,585	2,719	6,241	3,512	2,729
第1次産業	1,305	918	387	918	680	238	768	581	187	703	559	144	595	469	126
農業	1,190	806	384	820	587	233	681	505	176	618	480	138	541	420	121
林業	5	5	0	7	7	0	4	3	1	5	5	0	0	0	0
漁業・水産業	110	107	3	91	86	5	83	73	10	80	74	6	54	49	5
第2次産業	1,399	1,188	211	1,476	1,253	223	1,179	987	192	1,140	978	162	1,107	941	166
鉱業	42	38	4	68	59	9	12	12	0	8	8	0	24	23	1
建設業	987	899	88	1,100	984	116	849	758	91	795	714	81	798	718	80
製造業	370	251	119	308	210	98	318	217	101	337	256	81	285	200	85
第3次産業	3,640	1,710	1,930	3,790	1,786	2,004	4,012	1,835	2,177	4,416	2,022	2,394	4,485	2,066	2,419
卸・小売業	1,299	503	796	25	18	7	881	352	529	912	381	531	824	351	473
金融・保険業	63	16	47	224	201	23	56	15	41	63	23	40	48	16	32
不動産業	6	4	2	1,208	469	739	21	9	12	73	50	23	69	39	30
運輸・通信業	223	202	21	50	14	36	228	197	31	231	199	32	225	193	32
電気水道ガス	30	23	7	11	7	4	22	19	3	14	11	3	18	14	4
教育・学習支援授業										214	83	131	271	107	164
医療・福祉										802	228	574	919	277	642
サービス業	1,793	800	993	2,025	901	1,124	2,593	1,087	1,506	1,892	902	990	1,876	919	957
公 務	226	162	64	247	176	71	211	156	55	215	145	70	235	150	85
分類不能	2	1	1	1	0	1	16	8	8	45	26	19	54	36	18

資料：国勢調査報告書

経営耕地の状況(販売農家)

経営耕地の状況（販売農家）														単位：戸	
市町村	経営耕地 のある 農家数		畑（樹園地を除く）		樹園地		畑（樹園地を除く）		樹園地		畑（樹園地を除く）		樹園地		
	農家数	総面積	畑の所有 農家数	面積計	稲作専用地 農家数	面積計	稲作専用地 農家数	面積計	何れも作らなかつた 農家数	面積計	樹園地 の所有 農家数	面積計	樹園地 の所有 農家数	面積計	
本部町	280	24,415	203	15,508	188	11,705	2	248	17	2,338	29	1,217	114	8,907	

資料：農林水産省「2015年農林業センサス」

R2観点産地

生産量	アセローラ	シークワーサー				タンカン				輪ギク			
		栽培 農家数	栽培面積	生産量	栽培 農家数	栽培面積	生産量	栽培 農家数	栽培面積	栽培 農家数	栽培面積	生産量	栽培 農家数
平成27年	12.9	39	5.4	457	139	23	432	102	23.9	6,954	40	19.7	
平成28年	11.5	39	5.4	555	139	23	424	87	22	5,826	41	16.9	
平成29年	10.8	28	4.5	509	147	25	452	87	22	5,638	37	16.3	
平成30年	6.5	30	4.8	384	147	25	375	85	21	5,203	36	15.6	
令和元年	4.5	25	4.5	158	147	25	182	85	21	4,275	34	12.9	

資料：農林水産課

野菜の作付面積、収穫量及び出荷量(平成30年)

野菜の作付面積、収穫量及び出荷量（平成30年）	本部町	計	根菜類			葉茎菜類			果菜類			豆類		果菜類野菜		洋菜類		その他野菜												
			だいこん	にんじん	その他	はくさい	キャベツ	ほうろく	その他	なす	トマト	きゅうり	かぼちゃ	ピーマン	ちやえんとう	さやいんげん	すいか	アロシロコ	その他	はれしよ	コーヤー	なみ	くさ	とうなん	からしな	しもが	野菜ババヤ	クレン	その他	
			58	0	1	0	0	0	0	0	0	11	0	0	3	3	1	0	0	1	15	1	2	7	0	3	1	0	1	
			1,102	3	8	0	1	199	5	1	4	7	94	4	2	31	71	4	1	16	378	11	44	118	6	35	39	3	5	
			941	2	7	0	0	174	4	1	0	3	6	84	3	1	29	63	9	3	13	322	9	35	106	4	28	30	2	2

資料：農林水産課

果樹の収穫面積及び収穫量(平成28年度)

本部町	計	夏 植		春 植		株 出		合 計	
		107ヘクタール の面積	107ヘクタール の面積	107ヘクタール の面積	107ヘクタール の面積	107ヘクタール の面積	107ヘクタール の面積	107ヘクタール の面積	107ヘクタール の面積
面積	48.2	48.2	0.6	18.9	25.0	0.1	3.0	0.1	0.5
収穫量	878.0	878.0	29.8	502.9	328.3	0.6	10.8	1.6	-
出荷量	878.0	878.0	29.8	502.9	328.3	0.6	10.8	1.6	-

資料：沖縄県農業関係統計

さとうきび収穫面積及び収穫量

本部町	計	夏 植		春 植		株 出		合 計	
		107ヘクタール の面積	107ヘクタール の面積	107ヘクタール の面積	107ヘクタール の面積	107ヘクタール の面積	107ヘクタール の面積	107ヘクタール の面積	107ヘクタール の面積
面積	13.66	13.66	6.241	852.532	12.77	2,938	375.129	43.35	3,378
収穫量	11.14	6.763	753.364	12.75	2,748	350.398	37.43	3,152	1,179,743
令和元年度	14.31	5,842	836,043	5.93	4,090	242,531	32.66	2,897	946,306

資料：農林水産課

花きの収穫面積及び収穫量(平成28年度)

本部町	計	キク			洋ラン類			洋ラン類		
		キク	輪ギク	小ギク	スプレー キク	洋ラン類	デンファレ	オアシ ジュウム	その他 洋ラン	リタリス
作付面積	2,687	2,559	1,625	698	236	62	59	2	1	50
出荷数量	9,164	8,960	5,638	2,353	969	113	111	1	1	85
出荷額	413,233	396,809	287,555	69,714	39,540	10,744	10,683	27	34	3,947

資料：沖縄年鑑統計

家畜家禽の種類別飼養頭羽数

本部町	計	牛		馬	豚	山羊	水牛	鶏		うさぎ
		繁殖	肥育					採卵鶏	ブロイラー	
平成29年	491	491	1,920	6	3,817	646	-	283	14,000	16
平成30年	490	490	1,885	5	5,949	643	3	470	21,680	23
令和元年	486	486	1,885	5	5,341	645	3	524	24,000	43

資料：家畜家禽飼養状況調査

海面漁業魚種別漁獲量

本部町	計	魚類												その他			
		まぐろ	かき	かつお	さめ	あじ	ふり	うなぎ	たい	ざわ	そ	えび	かに	目	いか	たこ	うに
平成27年	51	20	0	11	-	-	1	0	0	0	0	19	0	1	6	1	-
平成28年	63	26	0	11	-	-	0	0	0	0	25	0	0	1	4	1	-
平成29年	57	20	-	9	-	0	0	0	2	0	25	0	0	1	2	1	-

資料：沖縄年鑑統計

種別宿泊施設数等（平成30年）

（単位：軒・室・人）

ホテル・旅館				民宿				ペンション・貸別荘				ドミトリ－・ゲストハウス						
軒数	客室数		収容人数	軒数	客室数		収容人数	軒数	客室数		収容人数	軒数	客室数		収容人数			
	和	洋			和	洋			和	洋			和	洋				
18	6	1,061	1,067	14	68	15	83	279	176	77	272	349	1,767	17	23	35	58	259

ウィークリーマンション				団体経営施設				ユースホステル				合計				
軒数	客室数		収容人数	軒数	客室数		収容人数	軒数	客室数		収容人数	軒数	客室数		収容人数	
	和	洋			和	洋			和	洋			和	洋		
4	0	35	35	123	0	0	0	0	0	0	0	229	174	1,418	1,592	6,322

資料：令和元年版観光要覧

観光入域者数の推移

（単位：人）

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
沖縄県入域者数	5,528,000	5,924,700	6,580,300	7,169,900	7,936,300	8,769,200	9,579,900	10,004,300
海洋博公園入園者数	3,391,223	3,615,981	4,048,576	4,291,548	4,573,189	4,817,721	5,004,800	4,936,732
水納島入域者数	45,751	43,382	50,233	52,693	57,110	64,043	68,704	－
本部町内宿泊者数	3,278	3,242	3,366	4,259	4,542	4,799	5,186	6,322

資料：本部町観光協会

町立幼稚園の概況

（各年5月1日現在）

園 名	園児数				学級数				教員数			
	平成27年	平成28年	平成29年	令和元年	平成27年	平成28年	平成29年	令和元年	平成27年	平成28年	平成29年	令和元年
上本部幼稚園	21	32	35	28	32	1	1	1	1	1	1	1
本部幼稚園	84	82	85	93	84	3	3	3	3	2	2	1
伊豆味幼稚園	2	4	6	6	9	1	1	1	1	1	1	1
崎本部幼稚園	7	2	4	0	1	1	1	0	1	1	1	0
瀬底幼稚園	9	11	7	8	8	1	1	1	1	1	1	1
計	123	131	137	135	134	7	7	6	7	6	5	5

※崎本部幼稚園令和2年3月31日閉校

町立小学校の概況

（各年5月1日現在）

学校名	児童数				学級数				教員数					
	平成27年	平成28年	平成29年	令和元年	平成27年	平成28年	平成29年	令和元年	平成27年	平成28年	平成29年	令和元年		
上本部小学校	155	150	168	173	192	8	8	8	9	13	12	13	13	
本部小学校	484	491	485	502	492	18	19	20	22	29	28	35	32	
伊豆味小学校	41	36	38	41	38	4	4	7	7	9	8	11	11	
崎本部小学校	21	23	22	18	19	3	3	2	3	3	6	7	6	
瀬底小学校	49	51	55	55	51	5	5	6	6	8	8	10	11	
水納小学校	2	2	1	1	1	1	1	1	1	2	3	3	3	
計	752	753	769	790	793	39	40	44	47	69	66	71	79	75

※崎本部小学校令和2年3月31日閉校

町立中学校の概況

（各年5月1日現在）

学校名	生徒数				学級数				教員数				
	平成27年	平成28年	平成29年	令和元年	平成27年	平成28年	平成29年	令和元年	平成27年	平成28年	平成29年	令和元年	
上本部中学校	81	87	72	74	64	4	4	4	5	11	13	12	13
本部中学校	248	256	283	269	276	9	10	11	11	21	27	26	27
伊豆味中学校	18	19	17	17	14	3	3	3	4	9	11	10	11
水納中学校	1	0	1	1	1	1	0	1	1	4	0	4	4
計	348	362	373	361	355	17	17	19	20	45	51	53	55

資料：学校基本調査報告書

年度別中学校卒業後の進路状況

（各年5月1日現在）

	卒業生総数			A 高等学校等 進学者			専修学校等 進学者・入学者			就 職 者			左記以外の者			左記Aのうち 他県への進学者			進学率
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	
平成27年3月卒業	121	63	58	110	56	54	1	1	0	4	2	2	6	4	2	3	0	3	90.9%
平成28年3月卒業	108	54	54	103	53	50	1	0	1	1	0	1	3	1	2	0	0	0	95.4%
平成29年3月卒業	111	61	50	109	59	50	0	0	0	0	0	0	2	2	0	1	1	0	98.2%
平成30年3月卒業	126	64	62	121	61	60	0	0	0	0	0	0	5	3	2	1	1	0	96.0%
平成31年3月卒業	125	60	65	123	58	65	0	0	0	1	1	0	1	1	0	3	2	1	98.4%

※：「A 高等学校等進学者」及び「専修学校等進学者・入学者」は、進学又は入学し、かつ就職した者を含む。

資料：学校基本調査報告書

要介護認定者数および介護保険サービス利用者数の推移

年度	認定者数					サービス利用者数		
	合計	要支援	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
平成27年度	844	205	141	138	130	160	70	647
平成28年度	798	165	119	134	136	173	71	589
平成29年度	799	156	114	136	158	164	71	579
平成30年度	831	174	131	141	156	173	56	640
令和元年	801	146	136	155	142	164	58	635

認定者、利用者ともに各年度末時点

資料：福祉課

生活保護世帯の状況

年度	被保護者		生活扶助		住宅扶助		教育扶助		医療扶助		介護扶助		停止中
	世帯	人員	世帯	人員	世帯	人員	世帯	人員	世帯	人員	世帯	人員	
平成27年度	227	272	199	244	122	150	8	11	170	185	34	34	-
平成28年度	242	281	211	245	122	141	3	4	187	199	42	42	-
平成29年度	253	288	210	245	129	148	3	4	202	219	40	40	-
平成30年度	249	286	214	245	134	153	3	4	205	222	52	52	-

出典：北部福祉事務所概況

乳幼児健康診査等の受診状況

年度	乳児健康診査			1歳6ヶ月健康診査			3歳児健康診査		
	対象者数	受診者数	診査率	対象者数	受診者数	診査率	対象者数	受診者数	診査率
平成27年度	283	238	84.1	134	121	90.3	136	115	84.6
平成28年度	278	249	89.6	132	118	89.4	140	124	88.6
平成29年度	233	206	88.4	136	123	90.4	137	125	91.2
平成30年度	202	176	87.1	114	111	97.4	124	113	91.1
令和元年	212	195	92.0	98	93	94.9	130	119	91.5

資料：健康づくり推進課

各種検(健)診受診状況

年度	特定健診		胃がん検診		肺がん検診		大腸がん検診		子宮がん検診		乳がん検診	
	受診数	受診率	受診数	受診率	受診数	受診率	受診数	受診率	受診数	受診率	受診数	受診率
平成27年度	1197	40.34	184	3.28	728	12.98	370	6.60	188	8.55	185	13.44
平成28年度	1269	43.10	173	6.28	741	13.03	379	6.66	187	10.20	157	13.46
平成29年度	1221	43.21	151	5.73	954	17.08	404	7.23	133	8.32	133	11.57
平成30年度	1307	47.67	126	6.80	977	17.84	623	11.37	179	8.28	221	14.33
令和元年	1313	48.79	121	6.39	964	18.22	563	10.64	134	8.53	122	14.00

資料：健康づくり推進課

老人医療費の推移

年度	受給者数 (人)	医療費(千円)	
		一人当り	
平成26年度	1,957	2,315,971	1,171.46
平成27年度	1,964	2,472,297	1,262.02
平成28年度	1,931	2,353,148	1,206.12
平成29年度	1,928	2,302,514	1,195.49
平成30年度	1,924	2,265,444	1,175.63

資料：健康づくり推進課

町営保育所及び認可保育園の状況

公立保育所
(令和2年4月1日現在)(単位：人)

保育所名	保育士数	定員	年齢別措置人員					開設年月日
			0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児以上	
渡久地保育所	10	120	2	6	6	14	9	昭和40年7月1日
認可保育園								
ドリム保育園	16	80	8	17	22	24	20	昭和56年4月1日
美ら咲保育園	17	60	7	12	15	16	14	平成16年4月1日
ゆい保育園(本園)	21	80	5	12	12	24	22	平成19年4月1日
ゆい保育園(分園)		30	3	5	8		16	平成27年4月1日
風のわ保育園	18	60	9	12	15	18	18	平成21年4月1日
こすも保育園	14	105	7	18	18	24	26	平成29年4月1日
合計	86	415	39	76	90	106	100	411

認可外保育園

ひかり保育園学園	4	50	1	2	1	6	4	14	昭和60年3月1日
----------	---	----	---	---	---	---	---	----	-----------

小規模認可

こすも保育園(分園新設前①)	7	19	2	4	5			11	平成27年4月1日
こすも保育園(分園新設前②)	6	19	6	3	0			9	平成27年4月1日
ベビーハウス遊	3	10	3	2	3			8	平成27年4月1日
合計	16	48	11	9	8	0	0	28	

資料：福祉課

月別ごみ処理状況(令和元年度)

	可燃ごみ(t)	不燃ごみ(t)	し尿(kl)
平成28年度	5596.01	58.42	4,360.34
平成29年度	5688.17	74.87	4,927.71
平成30年度	5625.96	79.29	4,598.81
令和元年度	492.41	5.87	365.60
4月			392.37
5月	500.93	9.05	359.20
6月	457.75	5.14	289.45
7月	520.88	5.64	333.34
8月	522.74	7.03	294.95
9月	453.93	6.88	452.03
10月	485.79	8.64	473.40
11月	443.09	7.46	487.43
12月	480.51	8.82	352.53
1月	462.63	7.67	350.75
2月	410.14	5.46	299.67
3月	407.60	8.52	4,450.72
令和元年度合計	5,638.40	79.28	

資料提供：本部町今帰仁村清掃施設組合

用途別使用水量の推移

年度	総量	各年度3月末現在(単位：m)			
		一般用	営業用	官公署用	船舶用
平成27年度	2,046,062	1,156,480	609,243	242,067	3,956
平成28年度	2,058,300	1,155,320	639,198	224,948	3,527
平成29年度	2,070,900	1,149,559	654,291	223,755	6,999
平成30年度	2,051,953	1,127,195	665,792	206,213	6,982
令和元年	2,059,713	1,097,596	728,887	188,265	22,265

資料：上下水道課

本部町今帰仁村消防本部・署・所の所在地

名 称		所 在 地
本部町今帰仁村消防組合消防本部		沖縄県国頭郡本部町大字浜850番地3
〃	本部消防署	〃
〃	本部消防署今帰仁分遣所	沖縄県国頭郡今帰仁村字勝名608-1 番

資料提供：本部町今帰仁村消防組合

消防庁舎の現況

署(所)別	敷地面積	構造	建築面積	延べ面積	備考
本部(署)	3,303㎡	鉄筋コンクリート	1,057.46㎡	996.18㎡	
分遣所	5,823㎡	〃	1,064.94㎡	1,164.9㎡	面積は附属等を含む

資料提供：本部町今帰仁村消防組合

消火栓設置状況（口径65mm以上）

字 名	消火栓数	字 名	消火栓数	字 名	消火栓数	字 名	消火栓数	字 名	消火栓数	字 名	消火栓数	字 名	消火栓数
湖底	10	大浜	24	大嘉陽	2	山里	7	古島	3	嘉津字	2	石川	11
崎本部	15	谷茶	11	伊豆味	24	野原	5	大堂	2	具志堅	5	山川	14
健堅	9	渡久地	12	並里	3	浜元	4	謝花	5	新里	5	豊原	3
辺名地	2	東	10	伊野波	6	浦崎	6	北里	3	備瀬	11	計	214

資料提供：本部町今帰仁村消防組合

消防施設の状況

車両名	台数	車両名	台数	令和元年現在
水槽付き消防ポンプ自動車	4	工作車	1	
救急自動車	2	広報車	0	
指令車	0	可搬動力ポンプ付き自動車	2	
ジェットスキー	2	その他	3	
救助艇	1	計	15	

資料提供：本部町今帰仁村消防組合

年次別救急搬送人員

	火災	自然災害	水難	労働災害	一般倉傷	加害	自損行為	急病	交通事故	その他	合計	本部町			今帰仁村				
												火	ハ	ハ	火	ハ	ハ	火	ハ
平成27年	0	1	5	7	7	144	2	0	552	54	95	867	2	1	3	1	1	1	1
平成28年	0	0	7	5	6	148	2	7	572	47	116	910	3	0	4	1	3	1	1
平成29年	0	0	2	3	5	133	4	5	573	41	134	900	3	0	7	1	1	1	3
平成30年	1	0	5	7	6	144	2	5	539	49	124	882	0	1	3	0	3	2	3
令和元年	0	0	8	3	3	140	3	4	546	39	196	942	2	0	4	4	2	3	3

種類別火災件数及び被害総額

	総数	建物	林野	車両	その他	損害額（本部町）	単位：件、千円
平成27年	8	5	1	0	2	36,468	
平成28年	3	0	2	0	1	0	
平成29年	6	2	1	1	2	14	
平成30年	4	1	1	0	2	16	
令和元年	5	3	0	1	1	785	

資料提供：本部町今帰仁村消防組合

用途別火災原因件数

原因	用途	平成29年				平成30年				令和元年			
		計	一般住宅	共同住宅	その他の建物	林野	その他	計	一般住宅	共同住宅	その他の建物	林野	その他
計		6	1	1	0	1	2	4	0	1	0	2	1
火入れの火の粉		2	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0
たばこ		1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0
マッチ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ガス器具		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
火遊び		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ポイラー		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
交通機関内記録		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ライター		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放 火		1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電気スパーク		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
その他		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
不 明		1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1

資料提供：本部町今帰仁村消防組合

用途・月別火災発生状況

月別	用途	平成29年				平成30年				令和元年			
		計	一般住宅	共同住宅	その他の建物	林野	その他	計	一般住宅	共同住宅	その他の建物	林野	その他
計		6	1	1	0	1	2	4	0	1	0	2	1
1月		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月		0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
3月		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
4月		0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0
5月		1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
6月		1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
7月		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月		2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
9月		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月		2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0
11月		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12月		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

資料提供：本部町今帰仁村消防組合

年間交通事故発生状況の推移

年	死 亡	重 傷	発生件数		軽 傷	合 計	死傷者数			
			管内	本部町			管内	本部町	管内	本部町
平成27年	0	0	6	5	43	31	49	36	0	0
平成28年	1	0	4	4	65	47	70	51	1	0
平成29年	0	0	10	6	50	31	60	37	0	0
平成30年	2	0	8	6	32	22	42	28	3	0
令和元年	2	1	1	3	28	18	31	22	2	1

資料提供：本部警察署

各種選挙別投票状況

執行年月日	種別	定数	立候補の有無	当日有権者数		投票者数		投票率			
				男	女	男	女	総数	男	女	総数
平成26年 9月 7日	本郡町農業委員会議員選挙	7	7 無	693	435	1,128	—	—	—	—	—
平成26年 9月 7日	本郡町長選挙	1	1 無	5,635	5,504	11,139	—	—	—	—	—
平成26年11月16日	沖縄県知事選挙	1	4 有	5,583	5,475	11,058	3,544	3,526	7,070	63.48%	64.40%
平成26年12月14日	衆議院議員総選挙 (小選挙区)	1	2 有	5,642	5,560	11,202	2,811	2,710	5,521	49.82%	48.74%
〃	衆議院議員総選挙 (比例代表在外含む)	21	86 有	5,642	5,560	11,202	2,790	2,692	5,482	49.45%	48.94%
〃	衆議院議員総選挙 (国民書置)	—	— 有	5,595	5,485	11,080	422	294	716	7.54%	5.36%
平成28年 6月 5日	沖縄県議会議員一般選挙	48	71 有	5,581	5,402	10,983	3,593	3,517	7,110	64.38%	65.11%
平成28年 7月10日	第24回参議院議員通常選挙	1	3 有	5,749	5,601	11,350	3,062	2,935	5,997	53.26%	52.40%
平成29年 3月 5日	本郡町議会議員選挙	14	19 有	5,580	5,420	11,000	4,149	4,013	8,162	74.35%	74.04%
平成29年10月22日	第48回衆議院議員総選挙 (小選挙区)	4	12 有	5,648	5,484	11,132	3,021	2,980	6,001	53.49%	54.34%
平成30年 9月 2日	本郡町長選挙	1	1 無	5,576	5,370	10,946	—	—	—	—	—
平成30年 9月30日	沖縄県知事選挙	1	4 有	5,526	5,332	10,858	3,391	3,423	6,814	61.36%	64.20%
平成31年 2月24日	沖縄県民投票	—	— 有	5,508	5,323	10,831	2,601	2,742	5,343	47.22%	51.51%
平成31年 4月21日	衆議院沖縄第3区選出議員 補欠選挙	1	2 有	5,579	5,409	10,988	2,731	2,625	5,356	48.95%	48.53%
令和元年 7月21日	第25回参議院議員通常選挙	1	4 有	5,574	5,395	10,969	2,580	2,525	5,105	46.29%	46.80%
令和2年 6月 7日	沖縄県議会議員一般選挙	48	64 有	5,447	5,235	10,682	2,944	2,891	5,835	54.05%	54.62%

資料：本郡町選挙管理委員会

行政区域長会事務所

令和2年8月1日現在

団体名称	役職	区長名	事務所 TEL	区事務所住所
1 瀬底行政区	区長	大城 昇源	〒905-0227 47-3741	瀬底 69-1 (瀬底区事務所)
2 崎本行政区	区長	山城 ひとみ	〒905-0225 47-2310	崎本部 15 (崎本部区事務所)
3 健聖行政区	区長	平良 敏章	〒905-0226 47-4197	健聖 1061-1 (健聖区事務所)
4 大浜行政区	区長	照屋 司	〒905-0212 47-4540	大浜 867-1 (大浜区事務所)
5 谷茶辺地域行政区	区長	宇根 良克	〒905-0213 47-2108	谷茶 445-13 (谷茶区事務所)
6 渡久地行政区	区長	中曾根 義人	〒905-0214 47-3036	渡久地 123 (渡久地区事務所)
7 大東山行政区	区長	根路路 国貞	〒905-0211 47-2201	東 430-1 (東区事務所)
8 伊豆味行政区	区長	髙原 安彦	〒905-0228 47-2300	伊豆味 95 (伊豆味区事務所)
9 伊並行政区	区長	内間 幸次	〒905-0228 47-3423	伊野波 487 (伊並区事務所)
10 浜元地区行政区	区長	金城 一史	48-2305	浜元 121 (浜元区事務所)
11 謝花行政区	区長	上原 正史	48-2311	謝花 124 (謝花区事務所)
12 具志堅行政区	区長	金城 均	48-2311	具志堅 158 (具志堅区事務所)
13 新里行政区	区長	與那嶺 明	48-2312	新里 593 (新里区事務所)
14 備瀬行政区	区長	不在	48-2371	備瀬 457 (備瀬区事務所)
15 豊川行政区	区長	兼城 昌一	48-2351	山川 716-1 (豊川区事務所)

市外局番 (0980)

● 役場	東 5	47-2101
本郡町役場 (代)	東 5	47-2101
上下水道課 (下水道浄化センター)	谷茶438	47-3537
港湾管理事務所	崎本部5235	47-4200
農業委員会事務局	東 5	47-2412
議会事務局	〃	47-2651
選挙管理委員会	〃	47-2358
教育委員会事務局	東 5	47-2206

● 町の施設

本郡町立図書館	大浜874-1	47-2105
本郡町立博物館	〃	47-5217
学校給食センター	山川716	48-2213
社会福祉協議会	大浜881-4	47-6655
ことばの教室	〃	47-6655
本郡幼稚園	東654-1	47-3156
上本郡幼稚園	北里1289	48-4755
瀬底幼稚園	瀬底693	47-5918
伊豆味幼稚園	伊豆味13	47-5921
上本郡学園	北里1317	47-2212
本郡小学校	東605	47-2202
瀬底小学校	瀬底693	47-2208
水納小中学校	瀬底6260	47-4848
伊豆味小中学校	伊豆味13	47-2207
本郡中学校	渡久地231-1	47-2203
本郡町会館 (町営ホール)	渡久地4	47-4442
葬斎場	渡久地922	
町民体育館	浦崎467-1	48-4300
運動公園	浜元598	
八重岳校の森公園	並里921	47-6688
環境美化センター	北里182	48-3171
本郡町・今帰仁村消防署	大浜850-3	47-7119

● 県の施設

本郡高等学校	渡久地377	47-2418
本郡警察署	大浜850-1	47-4110
沖縄県栽培漁業センター	大浜853-1	47-5411

● 国の施設

琉球大学熱帯生物研究センター	瀬底3422	47-2888
国営沖縄記念公園事務所	石川424	48-3140
国土交通省八重岳航空路監視レーダー局	大嘉陽976	

● 郵便局

本郡郵便局	渡久地93	47-2302
上本郡郵便局	謝花320	48-2317

● その他

商工会 (アジマール内)	大浜881-1	47-2749
(一社)本郡町観光協会 (アジマール内)	〃	47-3641
本郡漁業協同組合	谷茶28	47-2500
JAおきなわ本部支店	大浜876-2	47-2501
特別看護老人ホーム本部園	谷茶205	47-3644
社会福祉法人本部海陽園	谷茶268	48-2622
在宅支援センターゆいとびあ工房	大浜885-1	41-5355
(一財)沖縄美ら島財団	石川888	48-2741
本部港旅客待合所 (水納島)	谷茶29	47-5179
伊江村船舶修課本部連絡所	崎本部5232	47-3940
八洲学園国際高等学校	備瀬1249	51-7711
みかんの里総合案内所	伊豆味2846-3	47-2889
ハーソー公園	具志堅1334	48-3835

● 保育所

渡久地保育所	渡久地231	47-2106
ゆい保育園	大浜865-1	47-3756
トリーム保育園	伊野波438-1	47-3602
美ら咲保育園	東151-2	47-3757
風のわ保育園	浦崎740	48-3170
くすも保育園	野瀬279-1	47-3370
ひかり保育園	浦崎233	48-2130
ペピーハウス遊	大浜16-2	47-4138
くすもキッズ保育園	伊野波278-5	47-6411
	仲田アパートA棟	202・206・205号

● 医療機関

もとぶ記念病院	石川972	51-7007
もとぶ野毛病院	大浜880-1	47-3001
山田クリニック	大浜874-15	47-6660
金城齒科医院	渡久地142-1	47-2648
もとぶ歯科医院	大浜858-8	47-5432
もとマリノ歯科	渡久地799-1	47-6363
らいおん歯科	渡久地231	47-7855

● 金融機関

沖縄海邦銀行	渡久地152	47-2605
沖縄銀行	大浜879-1	47-2929
琉球銀行	大浜878-1	47-2600

本部町の歴史

本部町内には、20数ヶ所の遺跡が確認されています。これらは、海岸沿いのほとんどの字に分布しており、浜元サチビン貝塚、山川港原遺跡など、県の史跡に指定された遺跡も多くあります。これらの遺跡の時代は、琉球石灰岩の崖下の洞穴や岩陰を生活の場とし、漁労中心の採集生活を行なっていたと推察できます。

山川垣内権現洞穴遺跡などグスク時代の遺跡では、須恵器壺などが出土しており、時代像を明らかにする上で貴重な発掘となりました。

三山時代は15世紀初頭まで続きましたが、1416年に北山王・攀安知は滅び、中山の尚巴志によって琉球王朝の基礎が造られました。

1666年に伊野波間切が新設されるまで、本部半島の大半は今帰仁間切に属し、その翌年には伊野波間切は本部間切に改称されました。

本部地域の王府時代の村は合併を繰り返し、明治41年に本部村、昭和15年に町村が施行され本部町が成立しました。

沖縄戦では、町全域が戦場となり、壊滅的な打撃を被りました。米軍の占領後、町民は大浦崎へ移動させられ苦難の時を過ごしましたが、戦後は農漁業組合の設置などを契機に急速な復興を遂げました。

1975年には沖縄国際海洋博覧会会場になり、国内外からの観客で活況を呈するようになりました。

本部町のあゆみ

年	月 日	事 項
1666年	寛文 6年	高質王19年に今帰仁間切から伊野波間切が分割され、後に本部間切と称した
1874年	明治 7年	本部郵便局開局
1882年	明治15年	本部小学校開校
1887年	明治20年	本部小学校具志堅分校開校
1888年	明治21年	名護分署区域から削いて渡久地分署設置
1890年	明治23年	謝花小学校開校
1895年	明治28年	瀬底小学校開校
1908年	明治41年	伊豆味小学校開校
1910年	明治43年	町村制施行により、本部間切から本部村に改称
1916年	大正 5年	崎本部小学校開校
1920年	大正 9年	名護～伊豆味～渡久地間の道路開通
1926年	大正15年	初めて国勢調査を実施・本部村人口 22,492人
1929年	昭和 4年	渡久地分署を廃止し、独立の警察署として渡久地警察署となる
		渡久地～今帰仁線が開通
		国会議事堂の建築資材として瀬底島のトラバーチンの採掘が始まる
1931年	昭和 6年	浜元への海岸線が開通
1932年	昭和 7年	本部～名護間の海岸線道路ができる
		渡久地港が浚渫され、谷茶海岸約1万坪の埋立が竣工
1933年	昭和 8年	謝花郵便局開設
		本部郵便局で通話(電話)事務開始
1936年	昭和11年	本部採石工場操業
		渡久地港改良工事竣工
1937年	昭和12年	水納小学校開校
1940年	昭和15年	本部町商業組合設立
		町村制施行により本部村から本部町に改称される
1941年	昭和16年	仙瀬と謝花の一部で字石川、浜元と浦崎の一部で字山川、謝花と浦崎の一部で字豊原、謝花と具志堅の一部で字北里、具志堅から新里が、それぞれ区分する
1942年	昭和17年	本部町に県下初の海の警防団として水上分団設置
1944年	昭和19年	辺名地から谷茶、具志堅から嘉津字が区分する
		米軍の空襲で町の中心部と周辺集落が大被害を受ける(十・十空襲)
1945年	昭和20年	米軍が本部半島に進攻(4月18日までに本部半島制圧)
		米軍の命により町民は今帰仁、羽地方面に移動する
		さらに久志、辺野古に収容され、終戦をこの地で迎える
		沖縄戦終結
	6月23日	並川、伊豆味、伊野波、辺名地に居住許可が下りる・瀬底は移動がなく、当時一村として自治開始
	11月10日	

年	月 日	事 項
1946年	11月13日	並里区に食糧配給所が設置された
	11月25日	町役所が並里区に設置される・職員数50人、各区に衛生班が組織される
	11月26日	本部警察署設置・後に渡久地警察署と改称
	11月27日	畑は各戸割り当て、田は各区単位で共同耕作を実施する
	12月22日	本部、伊野波、伊豆味、浜元、崎本部、瀬底、豊川、謝花、新里各小学校設立
	12月24日	食糧配給所を移動する(旧本部国民学校跡)
	1月 5日	米軍より元住所に帰住許可が下りる
	1月 6日	各区に食糧配給所を設置(無償配布)
	1月 7日	新里小学校、豊川小学校開校
	1月15日	町役所移動(並里区より現在地に)
	1月19日	田井等地区渡久地分署設置
	1月20日	町制委員が任命され、戦後処理に当たる
	1月25日	漁業組合設立・漁船は米軍の上陸用舟艇、網は米軍の擬装網
	2月10日	伊野波小学校開校
	4月 1日	本部町農業組合設立
	4月28日	渡久地、谷米の区画整理が行なわれる
	4月30日	米軍配給の家畜を町飼育所が繁殖させ、各区へ割り当てる
1947年	5月 5日	行政区を改変。辺名地から大浜、渡久地から東・大嘉陽・野原、伊野波から山里・大堂の各区を分区分
	6月 1日	配給食糧が無償から有償になる
	7月15日	伊豆味、東、瀬底、謝花に診療所設置
	9月 1日	渡久地に海洋高等学校開校
	11月14日	土地調査はじまる
	11月15日	渡久地分署が昇格し独立の警察署となり、本部警察署と改称する
	4月 1日	本部実業高等学校設立
	8月 1日	謝花、嘉津宇、豊原、山川、石川、備瀬、具志堅、新里、北里の9区が、「上本部村」として分村
	8月10日	戦後初めて町民分担金を徴収する
	9月18日	上本部村農業組合設立
	10月 2日	上本部村水産組合設立
	2月 1日	市町村長選挙法が施行される
	4月 1日	本部中学校、上本部中学校開校
	4月 5日	町役所庁舎建築着工(木造)
	4月 8日	浜元小学校開校
	6月26日	日本新円がB軍票に切り替えられる
	8月 1日	上本部郵便局開設
1948年	9月 7日	本部水上署落成
	12月 1日	上本部飛行場周辺集落に立ち退き命令が出され、約500戸が移動
	12月23日	町役所庁舎落成(約80坪)

年	月 日	事 項
1949年	昭和24年 8月 2日	本部町成人学校開校
1950年	昭和25年 4月 5日	本部小学校健康分校開校
	4月29日	鯉節製造工場並びに加工場落成
1952年	12月 1日	戦後初の国勢調査実施。本部町人口 21,010人、上本部村人口 6,542人
	昭和27年 9月18日	本部地区防犯協会設立
1953年	昭和28年 2月 8日	渡久地港浚渫工事開始
	7月31日	本部町商工会結成
1955年	昭和30年 3月 1日	渡久地港が貿易港として指定される
	3月 1日	海洋高等学校が耶那へ移転(沖縄水産高校となる)
	3月 1日	伊豆味で沖縄農産KKバイン工場操業開始
	11月	本部ダム着工(辺名地)
1957年	12月 1日	国勢調査実施。本部町人口 17,105人、上本部村人口 5,749人
	昭和32年 4月22日	上本部村育英会発足
	8月	本部町マーケット落成
	9月26日	台風フェイにより、かつお船大栄丸沈没(死者16人、行方不明者4人)、上本部村内約400戸及び村議会議室が全壊
1958年	5月	渡久地橋竣工
	昭和33年 9月16日	布令第14号によりB円よりドル貨への切り替え開始(1ドル対120B円)
1959年	昭和34年 10月	本部バイン工場完成
	12月25日	本部町役場新庁舎完成(総2階コンクリート)
1960年	昭和35年 2月25日	渡久地港の浚渫起工式
	9月29日	上本部村役場焼失
1961年	10月	国勢調査実施。本部町人口 16,365人、上本部村人口 5,077人
	昭和36年 3月 5日	琉球果樹園バイン操業開始
	4月 9日	備瀬区に駐在所完成
	4月 9日	本部ダム完成
1962年	昭和37年 4月16日	名護保健所本部支所開所
	6月15日	伊豆味駐在所落成
	11月22日	具志堅の大川改修工事落成
	昭和38年 5月30日	本部町消防署設立
1963年	6月20日	琉米親善委員会の補助金により、八重岳桜並木の植樹事業開始
		本部登記所落成
	昭和40年 1月 1日	瀬底島〜浜崎間に海底ケーブルを設置し、電話開通
	7月 1日	町立渡久地保育所開所
1966年	昭和41年 10月	国勢調査実施。本部町人口 15,068人、上本部村人口 4,589人
	4月 4日	上本部村上水道完成。全家庭へ給水開始
1967年	昭和42年 12月15日	町制25周年記念事業として町営会館建設。町章・町歌が制定される
	4月 1日	本部高等学校開校
1968年	昭和43年 4月	上本部村配電施設完成(石川、豊原の一部を残して全区点灯)

年	月 日	事 項
1969年	昭和44年 3月28日	本部～名護間の海岸線道路が陥没される
	6月 1日	本部町、上本部村にダイヤル電話が開通する
	10月 4日	台風フロッキー来襲。集中豪雨により満名川氾濫し東・渡久地一帯が床上浸水。災害救助法適用
	10月	国勢調査実施。本部町人口 13,660人、上本部村人口 3,488人
1970年	昭和45年 11月15日	戦後初の国会議員選挙が執行される
	昭和46年 4月10日	本部町、上本部村合併促進協議会の初会合開催
	6月30日	上本部飛行場全面返還される
	9月14日	町議会が海洋博覧会の誘致に関する要請決議を採択
1971年	10月22日	本土政府は1975年に沖縄海洋博覧会を開催することを決定
	10月30日	上本部村撤消式典が行なわれる
	11月 1日	本部町、上本部村が合併
	12月 3日	琉球大学理工学部付属瀬底臨海実験所開所（昭和56年4月1日に琉球大学熱帯海洋科学センターに改称）
1972年	昭和47年 2月20日	海洋博推進本部会議で会場を本部半島周辺に決定
	5月15日	沖縄県が誕生（祖国復帰）
	5月15日	堀川が国指定天然記念物に指定される
	1月31日	広報もとぶ第1号発行
1973年	昭和48年 3月 2日	沖縄国際海洋博覧会会場の起工式が行なわれる
	4月27日	第十一管区海上保安渡久地分室開設
	8月 1日	町立東保育所開所
	9月10日	本部町全域を都市計画区域に指定
1974年	10月20日	水納島に公衆電話一台架設
	11月20日	谷米、大浜海岸埋立事業竣工（316,567㎡）
	12月12日	本部町今帰仁村清掃施設組合設立
	1月 1日	本部町役場蒲花支所廃止
昭和49年	4月 1日	本部町今帰仁村消防組合発足
	7月 1日	町立蒲花保育所開所
	7月20日	第一回本部海洋祭開催
	1月11日	大管区事務所落成
昭和50年	4月20日	本部大橋開通
	6月 1日	町立大浜保育所開所
	7月 9日	本部町今帰仁村消防組合庁舎落成
	7月12日	本部町今帰仁村清掃施設組合施設竣工
昭和51年	7月14日	渡久地新港竣工（昭和55年4月1日に本部港に改称）
	7月17日	アクアポリス竣工接岸式
	7月18日	町下水道処理場通水式
	7月20日	沖縄国際海洋博覧会開会式。皇太子ご夫妻、三木総理大臣、大浜信康会長他、関係者多数来町

年	月 日	事 項
1976年	昭和51年 8月23日	琉球大学臨海実験所落成式
	9月11日	第一回本部町畜産共進会開催
	10月 1日	国勢調査実施。本部町人口 17,823人
	12月23日	瀬底農協協野菜集荷場竣工
昭和52年	1月18日	海洋博覧会閉幕（183日間、約388万人入場）
	1月28日	本部高等学校体育館落成
	3月19日	謝花幼稚園園舎落成
	7月16日	一般財団法人沖縄美ら島財団設立（旧称：財団法人海洋博覧会記念公園管理財団）
昭和53年	8月 1日	アクアポリス開館式
	8月 8日	海洋博記念公園開園式
	4月 1日	中学校統合式典（本部中学校、伊野波中学校、浜元中学校、崎本部中学校）
	4月 1日	小学校統合式典（本部小学校、伊野波小学校、浜元小学校）
昭和54年	5月 2日	本部農協と瀬底農協が合併し、新農協発足
	5月20日	伊野波公民館落成
	7月30日	交通方法が左側通行へ変更
	1月19日	第一回八重岳桜花見祭り開催
昭和55年	2月20日	瀬底診療所落成
	7月 6日	瀬底～水納間海底ケーブルにより、水納島に自動電話を設置
	11月10日	瀬底大橋起工式
	4月 1日	上本部小学校開校（新里小学校、豊川小学校、謝花小学校統合）
昭和56年	4月 1日	浜元小学校を本部小学校に統合
	4月 8日	町立葬祭場落成式及び開眼式
	10月 1日	国勢調査実施。本部町人口 15,307人
	3月 5日	瀬底～水納島海底送水送電竣工
昭和57年	5月 1日	町立給食センター業務開始
	9月18日	特別養護老人ホーム「本部園」落成
	4月 1日	本部循環線の一部（名護～崎本部～浦崎まで）が国道49号に昇格
	4月 1日	本部警察署新庁舎完成
昭和58年	7月23日	町制施行40周年記念式典。記念事業の中央公民館、博物館、図書館が完成
	8月 7日	瀬底島海底送水通水式
	3月31日	本部町非核都市宣言採択
	10月25日	沖縄県水産試験場栽培漁業センター開所
昭和59年	11月 1日	「沖縄の自然100選」に本部半島のカルスト、水納島、備瀬の福木屋敷林、八重岳が認定される
	11月 1日	「沖縄の名木」に浜元公民館のダイゴ、伊豆味御願のハジギンマーチ、瀬底のクワデイサー、伊豆味のナトトリ、具志堅のうるふデイグ、健堅のアコウが認定される
	4月 1日	並里・伊野波配水タンク完成
	5月	伊豆味林道完成（古嘉津字～八重岳学園）
1984年	10月	北部で初の切り花ラン出荷開始（北里、ラン団地）

年	月 日	事 項
1985年	昭和60年	県内最大の瀬底大橋が開通(全長762m、幅員11m、歩道6m、歩道2.5m、総事業費約57億円) 第五瀬底丸退船式
	10月	国勢調査実施。本部町人口 15,116人
	昭和61年	瀬底集落センター落成
	昭和62年	瀬底路線バス開通式 町営住宅谷奈岡地完成 上本部幼稚園園舎完成 那覇地方方法務局本部出張所新庁舎落成 並里区公民館落成 新造船「フェリーいしま」就航 エキスポ港にて第42回国民体育大会夏季大会カヌー競技開催 第42回国民体育大会秋季大会レスリング競技開催 第42回国民体育大会秋季大会自転車ロードレース競技開催 第42回国民体育大会秋季大会自転車トラックレース競技開催 本部町の町木、町花、町花木、町の鳥、町の魚、町の蝶を制定 辺名地柚山に洋ラン園地完成 議場改修工事完了 浜崎漁港開港式 古嘉津字線開通祝賀会 本部町交通安全都市宣言 町道大宮線竣工 高速貨客船「みんな丸」就航 伊是名航路が運天港へ移る 町営住宅伊野波団地完成 P3C対潜水艦作戦センター送信所建設反対町民運動総決起大会(多目的広場) 町道伊野波本線竣工 第1回ツールド・おきなわ89開催 町営住宅伊豆味団地完成 大浜地区コミュニティセンター(公民館)完成 本部町今帰仁村消防組合設立 上本部小学校プール開き 第1回世界のウチナーンチュ本部町出身者歓迎会(アクアポリス) 伊平屋航路が運天港へ移る 国勢調査実施。本部町人口 15,043人 本部町町民音頭及び町民憲章を制定 町制施行50周年記念式典挙行 ふるさとづくり相い、手育成事業「冬の北海道体験の翼」をはじめて実施 第12回全日本リコーダーコンテスト(千葉県)で崎本部小学校が金賞受賞 本部町重症心身障害者(児)医療費助成開始
1986年	昭和63年	1月 3月16日 4月26日 5月19日 6月28日 7月 6日 8月 9日 10月 1日 3月31日 5月11日 8月 4日 11月
	昭和64年	3月31日 5月11日 8月 4日 11月
	平成 2年	3月 3月 4月 1日 5月24日 8月28日 10月 1日 10月 1日 10月 9日 12月15日
	平成 3年	2月27日 2月28日 6月

年	月 日	事 項
1992年	8月 2日	町立周物館内町民ギャラーオープン
	12月15日	町制功労者表彰式(町表彰条例制定後第1回)
	平成 4年	3月25日 3月26日
	3月25日	葬祭場の駐車場竣工 町議会が海上自衛隊P3C対潜水艦作戦センター送信所建設予定地内町道廃止議案を賛成多数で可決
	5月23日	伊豆味区構造改善センター(公民館)落成
	6月30日	本部町開館改修工事完了
	7月12日	本部町運動公園の運動場開き
	9月12日	学校週5日制(第2土曜日休校)開始
	11月14日	瀬底公民館落成
	12月13日	多目的広場を主会場に沖縄県中学校駅伝大会が開催される
	平成 5年	2月12日 2月25日 3月25日 3月27日 4月 1日 5月26日 8月 10月 4日 10月17日 10月30日
	平成 5年	2月12日 2月25日 3月25日 3月27日 4月 1日 5月26日 8月 10月 4日 10月17日 10月30日
1993年	2月12日	第1回美化コンクール開催(観光協会主催)
	2月25日	本部中学校コンプレックスターム竣工
	3月25日	渡久地保育所改築落成式
	3月25日	本部町花弁集出荷施設完成(野原)
	3月27日	第1回本部町婦人会芸能のタベ開催
	4月 1日	主要地方道本部循環線(県道124号線)が国道505号に昇格
	5月26日	「ことばの教室」開園(旧蘭花診療所を改造)
	8月	北部地区が地方拠点都市地域に指定される
	10月 4日	「南米本部町出身子弟研修生受け入れ基金」設立
	10月17日	第20回国頭地区中学校陸上競技大会をはじめて本部町運動公園で開催
	10月30日	アクアポリス営業終了
	平成 6年	3月30日 3月31日 9月30日 10月22日
1994年	3月30日	水道管理センター竣工
	3月31日	嘉津宇〜北里の通学路竣工
	9月30日	在沖米軍八重岳通信所用地(148,000㎡)の一部(117,098㎡)が返還される
	10月22日	グループホーム開所(知的障害者)
	平成 7年	1月29日 2月10日 2月22日 4月 1日 4月15日 4月24日 4月30日 5月25日 6月 1日 6月29日 7月16日 9月28日 10月
	平成 7年	1月29日 2月10日 2月22日 4月 1日 4月15日 4月24日 4月30日 5月25日 6月 1日 6月29日 7月16日 9月28日 10月
	平成 7年	1月29日 2月10日 2月22日 4月 1日 4月15日 4月24日 4月30日 5月25日 6月 1日 6月29日 7月16日 9月28日 10月
	平成 7年	1月29日 2月10日 2月22日 4月 1日 4月15日 4月24日 4月30日 5月25日 6月 1日 6月29日 7月16日 9月28日 10月
	平成 7年	1月29日 2月10日 2月22日 4月 1日 4月15日 4月24日 4月30日 5月25日 6月 1日 6月29日 7月16日 9月28日 10月
	平成 7年	1月29日 2月10日 2月22日 4月 1日 4月15日 4月24日 4月30日 5月25日 6月 1日 6月29日 7月16日 9月28日 10月
	平成 7年	1月29日 2月10日 2月22日 4月 1日 4月15日 4月24日 4月30日 5月25日 6月 1日 6月29日 7月16日 9月28日 10月
	平成 7年	1月29日 2月10日 2月22日 4月 1日 4月15日 4月24日 4月30日 5月25日 6月 1日 6月29日 7月16日 9月28日 10月

年	月 日	事 項
1996年	10月 1日	国勢調査実施。本部町人口 14,718人
	11月21日	世界のモトブナンチュ大会開催
	7月19日	本部町と北海道富良野町で友好の町盟約調印
	8月12日	台風12号襲来し、本部港被害甚大
	8月17日	旧上・本部飛行場跡地利用促進町民大会開催
1997年	4月26日	瀬底体育館落成
	6月22日	浦崎区公民館落成
	7月20日	高速船「マリーナ」就航（那覇泊港→エキス泊港→伊江港）
	8月 5日	本部中学校野球部が県大会に続き九州中学校野球大会で優勝
	8月 5日	町指定無形文化財として、瀬底・具志堅・備瀬のシニグ、瀬底の獅子舞、渡久地の松竹梅、並里の三名椿、伊豆味の女顔、長伊平屋敷が指定される
1998年	10月17日	瀬底の上帝君が国の重要文化財（建造物）に指定される（平成9年12月3日認定）
	10月13日	本部町ディサービス事業がスタート
	10月22日	本部町清掃施設組合新焼却炉火入れ式
	11月27日	本部町地域福祉センター落成
	12月	町営住宅崎本部団地が完成
	4月20日	水納丸待合所開所
	5月 9日	水納小中学校特別教室完成
	5月28日	「日本の水浴場55選」にエメラルドビーチが認定される
	6月 1日	2代目環境美化センター完成
	7月 1日	B&G「マリンビリアサオキナフ」が新装オープン
1999年	7月25日	本部闘牛大会が海洋まつりのイベントとして20年ぶりに復活
	12月	町営住宅瀬底団地が完成
	3月29日	地域振興券が交付される
	4月11日	浜元区公民館落成
	4月16日	県庁にてアセローラの口設定発表
2000年	4月25日	東区公民館落成
	5月16日	谷茶区公民館落成
	5月23日	古島集落センター（公民館）落成
	8月27日	県内初の福祉工場（住マイル工場）が完成
	10月17日	本部高校野球部が県野球秋季大会にて初優勝
2001年	10月12日	瀬底島沖合で500kg不発弾（2個）が発見され、水中爆破処理される
	2月13日	崎本部小学校体育館落成
	3月28日	八重岳道路改築事業完了（沖縄特別振興対策）
	3月31日	エキスボランド閉鎖
	3月31日	高速船「マリーナ」運航廃止
	4月 1日	介護保険制度開始
	4月30日	新里コミュニティセンター（公民館）落成
2002年	6月27日	第10回富良野町体験の翼一行が来町
	2003年	伊豆味小中学校グラウンド周遊せせらぎ落成
		八洲学園オープンニングセレモニー
		国勢調査実施。本部町人口 14,522人
		アクアポリス本部から上海へ（曳航後解体）
2003年	11月 3日	おはなしフェスティバルもとぶ開催。町民参加による民話劇「健甕比屋」上演
	11月19日	第24回沖縄県中学校駅伝競走大会で本部中学校が全県制覇
	12月10日	町制施行60周年記念式典開催
	2月26日	嘉津宇コミュニティセンターが落成
	5月	本部町行政改革検討委員会が発足
	7月 7日	第1回新里の朝市が開催される
	10月28日	本部町多目的イベント広場（闘牛場）落成
	11月 3日	世界のウチナーンチュ大会にあわせ、第3回世界のムトッブアンチュ大会を開催
	3月10日	本部小中学校が創立120周年を迎える
	3月	上本部中学校が第42回沖縄県春季中学校軟式野球大会で全県制覇
2004年	4月 1日	町営住宅健堅団地（12戸）入居開始
	4月 2日	B&G財団の沖縄海洋センター「マリンビリアサオキナフ」が町へ無償譲渡される
	4月23日	本部港旅客待合所が落成。記念式典が行なわれる
	5月 2日	伊豆味みかんの里総合案内所が落成。同日、伊豆味区で「第1回伊豆味あじさいまつり」が開催される
	6月	市町村合併に関する町民アンケートがはじめて行なわれる
	6月22日	並里区内に「うっぶあらし橋」が完成
	8月22日	上本部中学校が第19回全日本少年軟式野球大会で全国制覇
	11月 1日	海洋博公園内に世界最大級の水族館「沖縄美ら海水族館」がオープン
	12月 3日	伊豆味区が平成14年度農村アミニティコンクールで農村振興局長を受賞
	12月22日	本部町民体育館が完成
2005年	12月	行財政改革検討委員会が答申
	4月 1日	伊豆味区が「沖縄ふるさと100選」のひとつとして認定される
	8月14日	水納島旅客待合所落成
	3月	上本部中学校が第43回沖縄県春季中学校軟式野球大会で全県制覇
	2月13日	本部地区防犯協会創立50周年
2006年	3月	第27回全日本アンサンブルコンテストで本部中吹奏楽部が金賞受賞
	3月28日	本部町産業支援センター（アジマー）落成
	4月 1日	町営住宅山里団地（6戸）入居開始
	4月 1日	町営住宅崎本部第二団地（8戸）入居開始
	10月 1日	「鯨の町」を宣言
	3月 6日	本部町議員選挙
	4月 1日	行政区統合
2007年	10月 1日	国勢調査実施。本部町人口 14,383人
	10月27日	大嘉陽八重岳開通

年	月 日	事 項
2006年	平成18年 3月28日	本郷半島カルスト地域が沖縄海岸国定公園に編入
	4月 1日	町営住宅辺名地団地(16戸)入居開始
	4月29日	備瀬農林水産物直売所「フクギ屋」落成
	7月 1日	「ゴルフの町」を宣言
	10月14日	第4回世界のモトブランチ大会開催
	11月 3日	町道伊豆味親名線開通
	12月26日	沖縄県より本部町が輪ギクの農林水産戦略品目拠点産地として認定される
	12月26日	本部町青年団協議会再結成
	平成19年 2月22日	沖縄県より備瀬のフクギ並木が「おきなわの名木」に認定される
	7月	本部高等学校女子ゴルフ部が全国高等学校ゴルフ選手権大会九州大会で優勝
2007年	7月	伊豆味小中学校が全日本緑化コンクールの部で文部科学大臣賞を受賞
	10月25日	沖縄県知事が本部町視察公聴会
	11月	西平賀盛の肉用牛が農林水産大臣賞受賞
	11月	本部町青年団協議会が第56回全国青年大会のハレーボール部門で準優勝
	12月26日	比嘉真美子(本部中学校2年)が第2回全国小中学生ゴルフ伊江島大会で優勝
	平成20年 4月 1日	町営住宅瀬底団地第2棟(6戸)入居開始
	4月 1日	後期高齢者医療制度スタート
	4月30日	本部港(渡久地地区)旅客待合所が落成
	5月24日	本部町が第18回やんばる駅伝競走大会で大会2連覇
	6月	本部高等学校女子ゴルフ部が第56回高校総体ゴルフ競技団体の部で三連覇 与那嶺真代(本部高校3年)が第56回高校総体ゴルフ競技団体の部で優勝
2008年	6月12日	本部町と本部町建設業者会が災害時における支援に関する協定書を締結
	6月20日	本部町の歴史・文化等の認識を深めるために本部町ふるさと検定が開催
	6月24日	本部町ちゅうまちづくり応援基金を創設
	7月20日	沖縄本部美らまち観光大使第一号にあじさいミュージックが認証
	8月	南米本部町移住100周年
	10月27日	本部町行政評価委員会が設置
	10月31日	本部町と本部警察署の間で暴力団等による不当介入排除に関する合意書を締結
	11月 8日	本部町婦人会創立60周年記念式典
	11月30日	「本部町健康づくりのまち」を宣言
	平成21年 3月24日	町立本部小学校健康分校が閉校(大正13年開校)
2009年	4月 1日	町営住宅伊豆味第二団地(16戸)入居開始
	5月23日	本部町が第19回やんばる駅伝競走大会で大会3連覇
	7月19日	本部中学校合唱部が合唱コンクール沖縄県大会で金賞
	平成22年 3月	比嘉真美子(本部高校1年)が文部科学大臣杯争奪第30回全国高等学校ゴルフ選手権春季大会で優勝
	3月28日	豊川行政区コミュニティセンターが落成
	4月 1日	本部町独自の新生児支援金制度スタート
	5月22日	本部町が第20回やんばる駅伝競走大会で4連覇
2010年	平成23年 1月	本部町観光協会創立30周年式典
	1月27日	本部町・今帰仁村消防組合本部庁舎落成
	5月21日	本部町婦人会創立60周年記念誌発行
	6月25日	比嘉真美子(本部高校3年)が第53回日本女子アマチュアゴルフ選手権競技で優勝
	10月 5日	第5回世界のモトブランチ大会
	11月17日	もとぶ産直農家組合設立
	11月30日	九州輪ギクサミット品評会で嘉数憲人が内閣府沖縄総合事務局長賞
	平成24年 3月11日	瀬底中学校閉校式
	5月10日	本部港に本部町物流センターが落成
	5月16日	本部高校チャレンジ塾が開校
2012年	6月	渡久地港にフロムナードが完成
	10月21日	もとぶ手作り市実行委員会が第5回タイムス地域貢献賞とちゅうな一地域づくり大賞の特別賞を受賞
	12月14日	本部小学校新校舎が完成
	平成25年 2月	本部町を主会場に第23回全国格サミット開催
	2月12日	上本部飛行場跡地に係る国有地の売買契約調印
	4月 7日	比嘉真美子がヤマハレディーズオープン葛城で優勝
	6月 2日	比嘉真美子がリゾートトラストレディーズで優勝
	6月21日	一般社団法人本部町観光協会設立総会
	8月 1日	江藤幸喜がWBA世界フライ級暫定王者に
	10月19日	もとぶふれあい交流館がオープン
2013年	11月10日	本部小学校創立130周年記念式典
	11月15日	農業生産法人樺もとぶ牧場が第42回全畜連肉用牛枝肉共進会・第2部黒毛和種去勢牛の部で農林水産大臣賞を受賞
	平成26年 1月17日	本部町を元気にするネットワークの会設立
	2月 8日	本部町教育委員会と本部警察署が子どもを事件・事故から守る学校ゆいまーる活動制度協定締結
	3月 6日	もとぶ香ネギ定植式
	4月26日	崎本部区公民館落成
	4月27日	本部小学校新校舎落成
	6月17日	江藤幸喜がOPBF東洋太平洋フライ級王座決定戦で王座を獲得
	10月24日	伊豆味駐在所落成

年	月 日	事 項
2011年	7月 4日	具志堅地区にハーソー公園施設が開園
	7月30日	琉球ジャスコ株式会社と物産販売奨励協定を締結
	8月 4日	農商工連携第1弾「沖縄もとぶのかつおめし」が完成
	8月20日	比嘉真美子(本部高校2年)が日本ジュニアゴルフ選手権大会で優勝
	10月	全天候型トラック・フィールドの町運動場が完成
	10月 1日	国勢調査実施。本部町人口 13870人
	12月10日	本部町町制施行70周年式典
	平成23年 1月	本部町観光協会創立30周年式典
	1月27日	本部町・今帰仁村消防組合本部庁舎落成
	5月21日	本部町婦人会創立60周年記念誌発行
2012年	6月25日	比嘉真美子(本部高校3年)が第53回日本女子アマチュアゴルフ選手権競技で優勝
	10月 5日	第5回世界のモトブランチ大会
	11月17日	もとぶ産直農家組合設立
	11月30日	九州輪ギクサミット品評会で嘉数憲人が内閣府沖縄総合事務局長賞
	平成24年 3月11日	瀬底中学校閉校式
	5月10日	本部港に本部町物流センターが落成
	5月16日	本部高校チャレンジ塾が開校
	6月	渡久地港にフロムナードが完成
	10月21日	もとぶ手作り市実行委員会が第5回タイムス地域貢献賞とちゅうな一地域づくり大賞の特別賞を受賞
	12月14日	本部小学校新校舎が完成
2013年	平成25年 2月	本部町を主会場に第23回全国格サミット開催
	2月12日	上本部飛行場跡地に係る国有地の売買契約調印
	4月 7日	比嘉真美子がヤマハレディーズオープン葛城で優勝
	6月 2日	比嘉真美子がリゾートトラストレディーズで優勝
	6月21日	一般社団法人本部町観光協会設立総会
	8月 1日	江藤幸喜がWBA世界フライ級暫定王者に
	10月19日	もとぶふれあい交流館がオープン
	11月10日	本部小学校創立130周年記念式典
	11月15日	農業生産法人樺もとぶ牧場が第42回全畜連肉用牛枝肉共進会・第2部黒毛和種去勢牛の部で農林水産大臣賞を受賞
	平成26年 1月17日	本部町を元気にするネットワークの会設立
2014年	2月 8日	本部町教育委員会と本部警察署が子どもを事件・事故から守る学校ゆいまーる活動制度協定締結
	3月 6日	もとぶ香ネギ定植式
	4月26日	崎本部区公民館落成
	4月27日	本部小学校新校舎落成
	6月17日	江藤幸喜がOPBF東洋太平洋フライ級王座決定戦で王座を獲得
	10月24日	伊豆味駐在所落成

年		月 日	事 項
2015年	平成27年	10月28日	本部町役場新庁舎が完成
		12月 5日	本部漁業協同組合観光部会設立総会
		1月 5日	本部町役場新庁舎での業務が始まる
		1月17日	沖縄本部美らまち観光大使に谷川真理
		2月 9日	「フタギの里宣言」を発表
2016年	平成28年	10月 1日	国勢調査実施。本部町人口 13,536人
		4月29日	もとぶかりゆし市場オープン
		10月19日	シークワサー一拠点産地認定
		10月24日	役場新庁舎落成
		10月28日	第6回世界のムトブ・ブン・チュ大会
2017年	平成29年	11月13日	本部高校創立50周年
		12月10日	もとぶ元気タ市開催
		2月22日	本部町と本部警察署が「認知症高齢者等の見守り及び安全支援に関する協定」締結
		4月 1日	本部中学校改築
		4月 1日	こすも保育園落成
2018年	平成30年	8月13日	比嘉真美子がVNEC軽井沢で優勝
		8月20日	国頭郡球格技卓球大会で団体男子4連覇・女子15連覇
		8月24日	仲宗根夢来が第16回全国ウエイトリフティング選手権大会75キロ超級優勝
		11月 1日	南富良野町と友好の町盟約調印20周年
		11月26日	和岡町・小・郡市と「友好のまち」協定締結
2019年	平成31年 (令和元年)	1月20日	本部町・公立大学法人名桜大学との包括連携協定締結
		3月27日	もとぶかりゆし生産者の会設立
		4月21日	土地完文部銅像建立除幕式
		4月15日	比嘉真美子がKTT杯バン・テリン・レ・デイスオープンで優勝
		4月25日	本部町製氷術捌き施設落成
2020年	令和 2年	6月29日	本部町と沖縄振興開発金融公庫による「本部町地域開発プロジェクト助言業務に関する協定」締結
		3月10日	比嘉真美子がダイキョーキーボードレ・デイス優勝
		3月31日	崎本部小学校閉校
		4月 1日	細底小学校新校舎落成
		4月 1日	子ども子育てゆいまーる基金設立
		11月13日	本部高校野球部が選抜高等学校野球大会の21世紀枠出場候補に選出
		1月25日	本部高校が全国高等学校グロース・バル観光コンテストで準グランプリ受賞
		2月11日	細底小学校創立130周年
		7月 1日	本部町と一般財団法人沖縄美ら島財団による「もとぶ地域づくり包括連携協定」締結
		7月 2日	もとぶ町産あぐー商標使用許諾に関する覚書締結

本部町の豆知識

位置		本部町は、沖縄本島北部の東経 127度54分・北緯 26度39分に位置し、総面積 51.3km ² で水納島 (0.47km ²) の離島を有します。	
人口	人 口	13,136人 (令和2年3月31日現在)	
	世帯数	6,405世帯 (令和2年3月31日現在)	
気候	平均気温	24.2℃ (平成27年～令和元年 5年間の平均気温)	
	年間降雨量	2,120.3mm (平成27年～令和元年 5年間の平均雨量)	
町のテーマ		太陽と海と緑・観光文化のまち	
町の花木等	花	ラン	
	花 木	さくら	
	木	フクギ	
	魚	カツオ	
	鳥	リュウキュウコノハズク	
国指定記念物	蝶	コノハチヨウ・フタオチヨウ	
	天然記念物	塩川	塩川は本部町崎本部にある塩分を含んだ水が流れる川で、海と川の生きものが共生しており、世界的にも珍しい川です。
	建造物	土帝君	瀬底島にある土帝君は、1712年に清 (中国)より豊神土帝君の木像をもってきて祀ったもので、旧暦の2月2日に島の人々が祭礼を行います。
沖縄海岸国定公園		本部半島カルスト地域	
山 (標高)	八重岳	453m	
	本部富士	250m	
川 (延長)	満名川	4000m	
橋 梁	瀬底大橋	762m	昭和60年2月 開通
	本部大橋	352m	昭和50年4月 開通
港	港 湾	7ヶ所	
	漁 港	2ヶ所	
役場所在地		〒905-0292 沖縄県国頭郡本部町字東5番地 TEL 0980-47-2101	

21 vertical dashed lines for writing.